J

KL-M7

取扱説明書 保証書付

準備編	電源との接続、テープカートリッジの装着などを説明しています。
おためし印刷編	簡単なデータを作って印刷するまでの流れを説明しています。
ラベル作成編	工夫したデータの作り方を説明しています。
入力･編集編	文字の入力･修正や書体の変更などを説明しています。
設定編	画面の輝度、印刷の濃度の設定などを説明しています。
付録	使い方が分からなくなったときの対処などを説明しています。

ご使用の前に本書の「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
本書はお読みになった後も、大切に保管してください。

RJA519593-002V01
MO1303-A

ご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願いいたします。

あらかじめご承知いただきたいこと

■本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点やお気付きの点などがありましたらご連絡ください。

■本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

■ 故障、修理、その他の理由に起因するメモリー内容の消失による、損害および逸失利益等につきまして、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

■本書の一部または全部を無断で複写することは禁止されています。個人としてご利用になる他は、著作権法上、当社に無断では使用できませんのでご注意ください。

■本書の内容は改良のため、将来予告なく変更することがあります。

■本書の印刷例や表示画面などは、実物と多少異なる場合があります。ご了承ください。

当社では「廃棄物ゼロ」を実現するため、使用済みのテープカートリッジを回収 / 分解し、再資源化しております。
使用済みのテープカートリッジはお買い求めの販売店までお持ちください。

安全上のご注意

このたびは本機をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。ご使用になる前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。本書は、お読みになった後も、いつでも見られる場所に保管してください。

⚠ 危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険がさし迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

⦸ 記号は「してはいけないこと」を意味しています（左の例は分解禁止）。

● 記号は「しなければならないこと」を意味しています。

⚠ 危険

電池について

電池からもれた液が目に入ったときは、すぐに次の処置を行ってください。

1. 目をこすらずにすぐにきれいな水で洗い流す。
2. ただちに医師の治療を受ける。

そのままにしておくと失明の原因となります。

⚠ 警告

煙、臭い、発熱などの異常について

煙が出ている、へんな臭いがする、発熱しているなどの異常状態のまま使用しないでください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。

1. 電源スイッチを切る。
2. AC アダプター使用時は、プラグをコンセントから抜く。
3. 電池が入っている場合は電池をはずす。
4. お買い上げの販売店または「修理に関するお問い合わせ窓口」に連絡する。

AC アダプターについて

AC アダプターは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となります。
次のことは必ずお守りください。

- 必ず指定品を使用する
- 電源は、AC100V(50/60Hz) のコンセントを使用する

- 1つのコンセントにいくつもの電気製品をつなぐ、いわゆるタコ足配線をしない

⚠ 警告

ACアダプターについて

電源コードは使いかたを誤ると、傷がついたり破損して、火災・感電の原因となります。
次のことは必ずお守りください。

- 重いものを乗せたり、加熱しない
- 加工したり、無理に曲げない
- ねじったり、引っ張ったりしない
- アダプター本体にコードを巻きつけない

- 電源コードやプラグが傷んだらお買い上げの販売店または「修理に関するお問い合わせ窓口」に連絡する

ACアダプターについて

- 濡れた手で電源コードやプラグに触れないでください。
  感電の原因となります。
- ACアダプターは水のかからない状態で使用してください。水がかかると火災や感電の原因となります。
- ACアダプターの上に花瓶など液体の入ったものを置かないでください。水がかかると火災や感電の原因となります。
- ACアダプターを新聞紙やテーブルクロス、カーテン、布団、毛布などで覆わないようにしてください。火災の原因となります。

⚠ 警告

ACアダプターについて

外出時は、動物・ペットが本機に近づかないようにして、ACアダプターはコンセントから抜いてください。ACアダプターに噛みついた場合、ショート（短絡）により、火災や感電の原因となります。

電池について

電池は使いかたを誤ると液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因となります。
次のことは必ずお守りください。

- 分解しない、ショートさせない
- 加熱しない、火の中に投入しない
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない
- 種類の違う電池を混ぜて使用しない
- アルカリ乾電池は充電しない

- 極性（＋と－の向き）に注意して正しく入れる

電池について

本機内で電池が液もれしたまま使用すると火災・感電の原因となりますので、すぐに本機の使用をやめてお買い上げの販売店または「修理に関するお問い合わせ窓口」に連絡してください。

⚠ 警告

落とさない、ぶつけない

本機を落としたときなど、破損したまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。

1. 電源スイッチを切る。
2. AC アダプター使用時は、プラグをコンセントから抜く。
3. 電池が入っている場合は電池をはずす。
4. お買い上げの販売店または「修理に関するお問い合わせ窓口」に連絡する。

分解・改造しない

本機を分解・改造しないでください。感電・やけど・けがをする原因となります。

内部の点検・調整・修理はお買い上げの販売店または「修理に関するお問い合わせ窓口」にご依頼ください。

水、液体、異物はさける

水、スポーツドリンク、海水、動物·ペットの尿、異物（金属片など）が本機内部に入ると、火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。

1. 電源スイッチを切る。
2. AC アダプター使用時は、プラグをコンセントから抜く。
3. 電池が入っている場合は電池をはずす。
4. お買い上げの販売店または「修理に関するお問い合わせ窓口」に連絡する。

⚠ 警告

火中に投入しない

本機を火中に投入しないでください。破裂による火災・けがの原因となります。

袋をかぶらない、飲み込まない

本機が入っていた袋をかぶったり飲み込んだりしないでください。窒息の原因となります。

特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

電子レンジでの加熱に使う容器にはラベルを貼らない

電子レンジでの加熱に使用する容器には、ラベルを貼らないでください。ラベルに使用している材質に金属が含まれているため、電子レンジで加熱すると発火や火傷の原因となります。

また、ラベルを貼ったものが変形することがあります。

⚠ 注意

AC アダプターについて

AC アダプターは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。

- ストーブ等の熱器具に近づけない
- プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない（必ず AC アダプター本体のプラグを持って抜く）

⚠ 注意

AC アダプターについて

- プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む
- 旅行などで長期間使用しないときはプラグをコンセントから抜く
- ご使用後は電源スイッチを切り、プラグをコンセントから抜く
- プラグは年 1 回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分にほこりがたまらないように、乾いた布や掃除機で清掃する
- AC アダプター（特にプラグやジャック部分）の清掃には、洗剤を使用しない
- AC アダプターは、AC プラグに容易に手が届くようにして、使用する機器の近くのコンセントに差し込んで使用してください。不具合が生じたときには、コンセントからすぐに取りはずせるようにしてください。
- AC アダプターは、湿気のないところで保管してください。

電池について

電池は使いかたを誤ると液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。

- 本機で指定されている電池以外は使用しない

- 長時間使用しないときは、本体から電池を取り出しておく

⚠ 注意

充電池について

- 充電池は、三洋電機株式会社製の単 3 形 eneloop（エネループ）または、パナソニック株式会社製の単 3 形充電式 EVOLTA（エボルタ）をご使用ください。これ以外の充電池は使用しないでください。
- 充電池の充電は、必ず専用の充電器をご使用ください。
- 充電池を本機にセットしたままでは充電できません。
- eneloop、充電式 EVOLTA、および各充電池専用の充電器を使用する場合は、各製品に付属の取扱説明書や注意書きをお読みいただき、条件を守ってご使用ください。

大切なデータは控えをとる

本機に記憶させた内容は、ノートに書くなどして本機とは別に必ず控えを残してください。本機の故障や修理などにより、記憶内容が消えることがあります。

重いものを置かない

本機の上に重いものを置かないでください。
バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

⚠ 注意

置き場所について

本機を次のような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

- 湿気やほこりの多い場所
- 調理台のそばなど油煙が当たるような場所
- 暖房器具の近く、ホットカーペットの上、直射日光が当たる場所、炎天下の車中など本機が高温になる場所

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や高い棚の上など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

電池のセットおよび電池交換時の注意

本機電池収納部内の電池バネには、鋭利な部分があります。「電池をセットするとき」や「電池を交換するとき」には、電池バネには触らないでください。指を切る恐れがあります。

高温注意

プリンターヘッドおよびまわりの金属部分には触らないでください。高温になるため、やけどする恐れがあります。

⚠ 注意

表示画面について

- 液晶表示画面を強く押したり、強い衝撃を与えないでください。
  液晶表示画面のガラスが割れてけがの原因となることがあります。
- 液晶表示画面が割れた場合、表示画面内部の液体には絶対に触れないでください。
  皮膚の炎症の原因となることがあります。
- 万一、口に入った場合は、すぐにうがいをして医師に相談してください。
- 目に入ったり、皮膚に付着した場合は、清浄な流水で最低 15 分以上洗浄したあと、医師に相談してください。

オートテープカッターに注意する

電源を入れたときや印刷中は、プリンターヘッドやテープ通路付近に触れないでください。
オートテープカッターが動くことがあり、けがをする恐れがあります。

JIS C 61000-3-2 適合品

本装置は、高調波電流規格「JIS C 61000-3-2」に適合しています。

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

ご使用上の注意

本機を末ながくご愛用いただくために以下の点にご注意ください。

- 直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、静電気の発生しやすい場所、急激な温度変化がおこる場所、極端な高低温下での使用は避けてください。
  使用温度範囲は、10℃～35℃です。
- 10℃未満の低温下で使用すると、電池の特性上、電池容量が低下するため画面に「電池残り少」と表示されやすくなります。その場合は、本機を使用温度範囲 (10℃～35℃) の環境に戻してからご使用ください。
- 強い衝撃や大きな力を加えないようにご注意ください。
- プリンター部分にクリップやピンなどを落とさないでください。
- テープを無理に引き出したり、押し込んだりしないでください。
- プリンターヘッドが汚れると、印字が不鮮明になります。この場合は、お手入れの方法（67 ページ）をご覧になり、プリンターヘッドやゴムローラーをきれいにしてください。
- 本機を直射日光などの強い光が当たる場所で使用した場合、本機内部にある光センサーが誤動作を起こしエラーメッセージを表示することがあります。強い光が当たらない場所でお使いください。

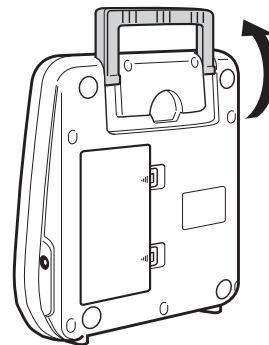
目次

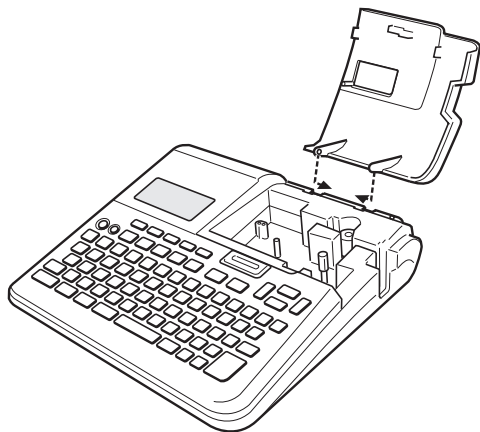
設定編……63

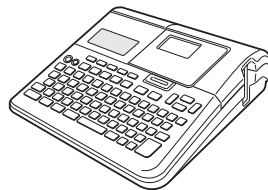
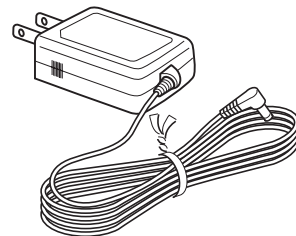
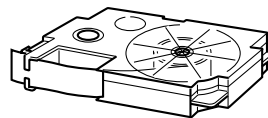
付　録……65

各部の名前とはたらき

■持ち運ぶときは

本機を持ち運ぶときは、図のように持ち運び用ハンドルを引き上げてお使いください。

■テープカートリッジ収納部のカバーが外れてしまったら

テープカートリッジ収納部のカバーが外れてしまったときは、図のようにセットしてください。カバーを無理な方向に曲げたりねじったりすると、突起や穴が破損する恐れがありますのでご注意ください。

付属品を確認しましょう

KL-M7 本体

AC アダプター
AD-A12090L

お試し用テープカートリッジ
（9mm 幅）

本書（保証書付）
別売品カタログ

- アルカリ乾電池、充電池および充電器は商品に付属しておりません。アルカリ乾電池、充電池および充電器は電器店、量販店などでお買い求めください。

本機の操作の流れ

ACアダプターの接続
または電池のセット
12ページ
65ページ

- **購入後、はじめて使うときはメモリーの初期化をしてください。（13ページ）**
- メモリーの初期化をすると本機に記憶したデータが消去されます。必要のないときはメモリーの初期化はしないでください。

テープカートリッジの取り付け 15ページ

自由に入力して作る
フリーラベル　21、35ページ
フリーラベルの編集機能　35ページ

用途に応じて作る
用途別ラベル　29ページ
ナンバリング　31ページ
デザインロゴ　33ページ

印刷する 22ページ

電源について

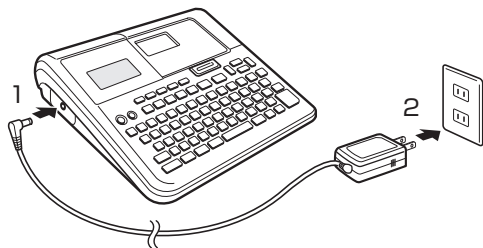
本機を使うときは、電源として指定の AC アダプターまたは市販のアルカリ乾電池、推奨の充電式ニッケル水素電池を使います。
- ご使用前に、「安全上のご注意」（1 ～ 5 ページ）を必ずご覧ください。
- 電池のセットについては、65 ページをご覧ください。
- アルカリ乾電池または推奨の充電式ニッケル水素電池を使う場合は、必ず電池の設定を確認してください（64 ページ）。

AC アダプターで使う

■取り付ける

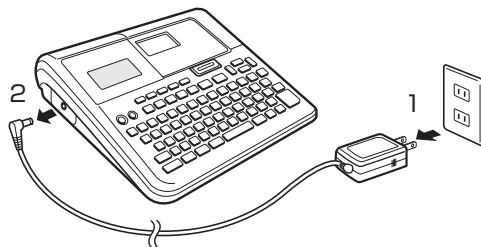
重要 • 付属の AC アダプター以外は使用しないでください。

1 AC アダプターのプラグを、本機の AC アダプター接続用端子に差し込みます。

2 AC アダプターをご家庭のコンセント< AC100V >に差し込みます。

■取り外す

- 印刷中に AC アダプターを取り外さないでください。故障の原因となります。
- 電源が入っているときや、電源を切った後も表示が画面から完全に消えるまでは、AC アダプターや電池を取り外さないでください。一時的に保存された作成中の文章、本機に登録した文章、設定された内容が消去されてしまいます。
- 「電池をセットした状態」で、AC アダプターを抜き差しするときは、必ず、一度電源を切ってください。電源が入っているときに抜き差しをすると、電源が切れて作成中の文章が消去される場合があります。
- 本機に登録した重要なデータは、ノートなどに控えを取っておいてください。

1 コンセントから AC アダプターのプラグを抜きます。

2 本機の AC アダプター接続用端子から AC アダプターのプラグを抜きます。

電源コードの両端部分は、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。また、電源コードの両端部分が折り曲げられた状態で保管しないでください。コードが断線して故障の原因となります。

はじめて使うときは「メモリーの初期化」を!

ご購入後、本機をはじめて使うときは、必ず**メモリーの初期化**という操作をします。「メモリーの初期化」をしないと、正しく動かないことがあります。

メモリーの初期化をすると、本機に記憶したデータが消えてしまいますので、はじめて使うとき以外はメモリーの初期化をしないでください。

1 **電源が切れていることを確認します。**
画面に何か文字があるときなど電源が入っているときは、㊀切を押します。

2 **［印刷］と［空白］をいっしょに押しながら、（入）を押します。**
［印刷］と［空白］をいっしょに押し続けたまま、（入）から指を離します。

3 **［印刷］と［空白］から指を離します。**

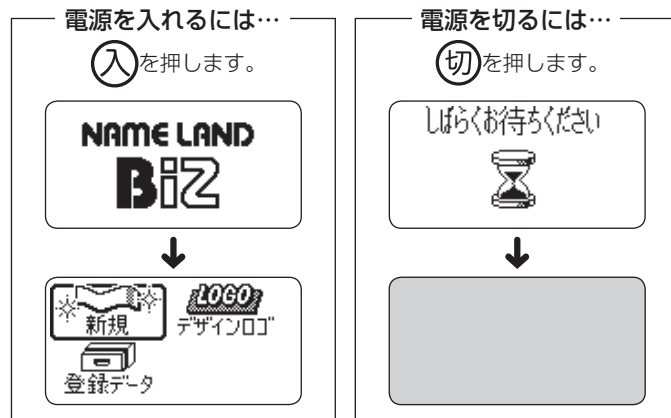
「メモリー初期化？　実行／取消し」が表示されます。

4 **［実行］を押します。**

重要 メモリーの初期化をした後は、必ず電池の設定を確認してください（64 ページ）。

メモリーとは
本機内部にあり、作成した文章などを記憶する場所です。
「メモリーの初期化」とは
本機が正常な動作をするために、電気的な設定をすることです。「メモリーの初期化」をすると、画面に表示されている文章とメモリーに記憶されているデータは消えてしまいます。
また、いろいろな設定も製造時に定められた設定に戻ります。

電源を入れる・切る

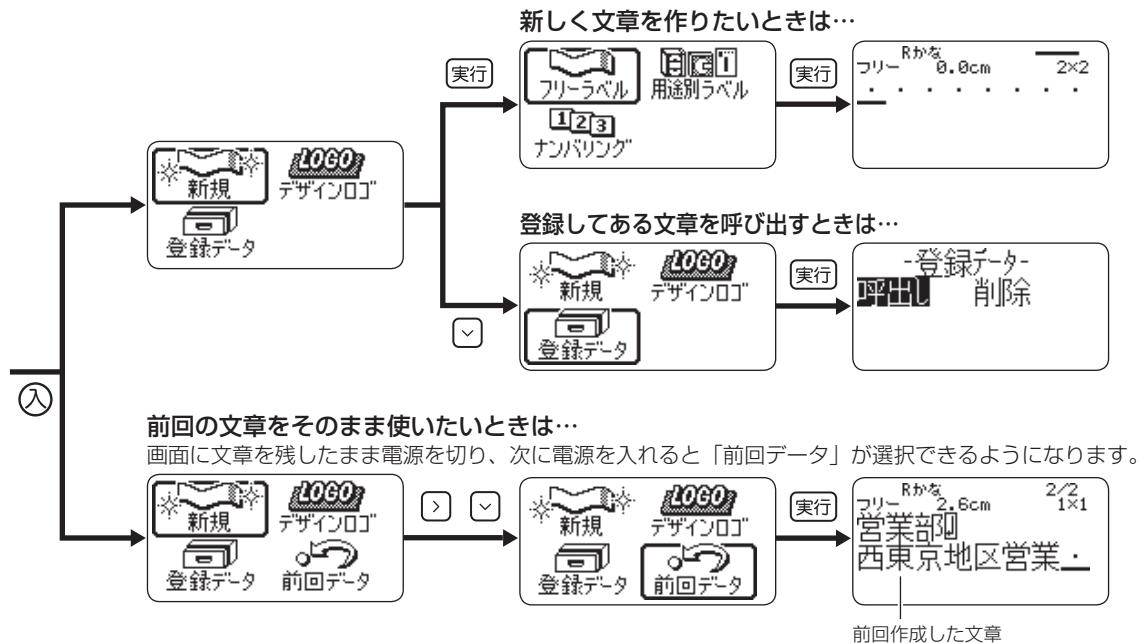
一度「メモリーの初期化」をしたら、次からは（入）を押すだけで本機を使うことができます。

- 画面の明るさを調整するときは、64 ページをご覧ください。

オートパワーオフ（節電）機能について

何も操作をしないで、約 6 分間電源を入れたままにしておくと、電源は自動的に切れます。これを**オートパワーオフ機能**といいます。
再び本機を使うときは、（入）を押してください。

印刷する文章の作り方について

本機では、文章の作り方について、次の 3 つがあります。

- 新しく文章を作る
- 登録してある文章を呼び出して作る
- 電源を切る前に入力していた文章（前回の文章）を呼び出して作る

- 電源を入れた直後の画面で「前回データ」以外を選択したときや、デモ印刷をすると、前回作成したデータは消えてしまいます。大切なデータは、登録してから上記の操作をしてください。（データの登録→ 46 ページ）

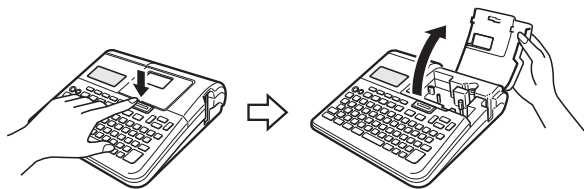
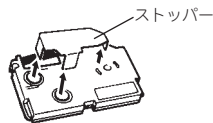
テープカートリッジを取り付ける / 取り外す

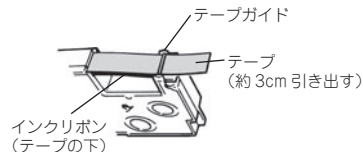
ラベルを印刷するときには、テープカートリッジが必要です。
付属品および別売のテープカートリッジをお使いください。

・テープカートリッジについては、付属の「別売品カタログ」をご覧ください。

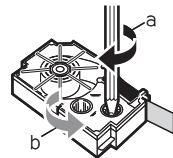
テープカートリッジを取り付ける

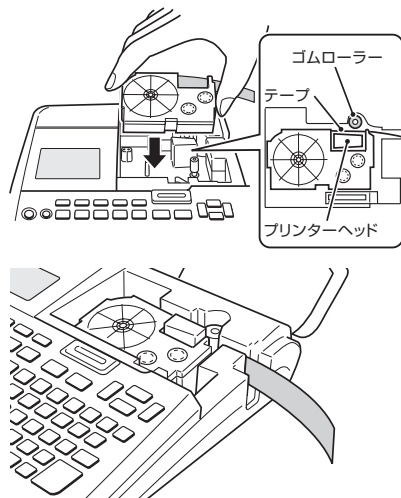
1 ㊚を押して、電源を切ります。

2 収納部オープンボタンを押して、テープカートリッジ収納部のカバーを開けます。

3 テープカートリッジについているストッパーを取り外します。

4 テープとインクリボンの状態を確認します。

・テープの先が曲がっていない（曲がっていたらハサミで曲がった部分をカットする）
・テープの先がテープガイドを通っている
・インクリボンがたるんでいない

・一度引き出したテープを戻すことはできません。
・無理に引き出さないでください。インクリボンが切れるなど、故障の原因になります。
・インクリボンがたるんだままテープカートリッジをセットすると、インクリボンが切れるなど、故障の原因になります。

インクリボンがたるんでいたら、たるみを取ります

インクリボンがたるんでいたら、a のように、右上の軸をえんぴつなどで矢印方向に回します。b の方向に左下の軸が回り始めるまで右上の軸を回してください。
このとき、テープはいっしょに動きません。

5 **テープカートリッジをセットします。**
インクリボンが引っかからないように注意しながら、テープとインクリボンがプリンターヘッドとゴムローラーの間を通るように取り付けます（下図）。テープカートリッジはカチッと音がするまで奥に押し込んでください。

重要 正しくセットしないと、リボン切れの原因となります。

6 **テープカートリッジ収納部のカバーを閉めます。**

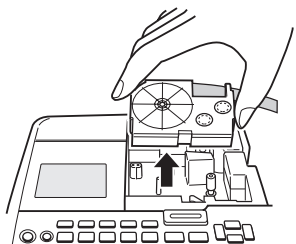
- カバーは、カチッと音がするまでしっかりと閉めてください。
- テープカートリッジをセットしたら、テープを引き出したり押し込んだりしないでください。

テープカートリッジを取り外す

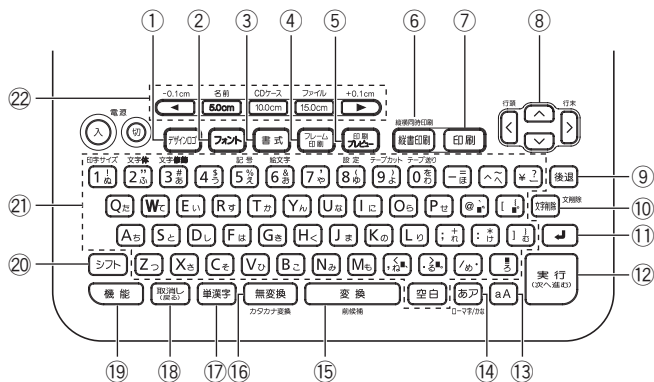
1 **㊈を押して電源を切ります。**

2 **収納部オープンボタンを押して、テープカートリッジ収納部のカバーを開けます。**

3 テープカートリッジの左右に指を入れて、まっすぐ上に引き抜きます。

- 印刷直後は、プリンターヘッドが熱くなるため、十分に時間をおいてからテープカートリッジを取り出してください。

- 当社では「廃棄物ゼロ」を実現するため、使用済みのテープカートリッジを回収 / 分解し、再資源化しております。
  使用済みのテープカートリッジはお買い求めの販売店までお持ちください。

キーのはたらき

ここではキーの主な使い方について説明します。

①	デザインロゴ	デザインロゴを呼び出して印刷するときに押す。
②	フォント	フォント（書体）を選ぶときに押す。
③	書式	書式を設定するときに押す。
④	フレーム印刷	フレーム印刷をするときに押す。 • フリーラベル以外では使用できません。
⑤	印刷プレビュー	印刷結果を画面で見るときに押す。
⑥	縦横同時印刷 縦書印刷	縦書き印刷をするときに押す。 • 縦横同時印刷をするときは、機能を押し、指を離してからこのキーを押す。 • フリーラベル以外では使用できません。
⑦	印刷	印刷するときに押す。
⑧	＜ ∧ ∨ ＞	• 文字が入る位置を示した＿（カーソル）や、文字編集などのときに範囲を指定する■を動かすときに押す。 • 項目などを選択するときに押す。
⑨	後退	カーソルの前の文字を消すときに押す。
⑩	文削除 文字削除	カーソルの上の文字を消すときに押す。 • 入力中の項目の文章をすべて消すときは、機能を押し、指を離してからこのキーを押す。
⑪	↵	改行するときに押す。
⑫	実行	操作を進めるときに押す。
⑬	aA	アルファベットの小文字と大文字を使い分けるときに押す。（49 ページ）
⑭	あア ローマ字/かな	ひらがなとカタカナを使い分けるときに押す。（50 ページ） • ローマ字入力とかな入力を切り換えるときは、機能を押し、指を離してからこのキーを押す。
⑮	変換 前候補	ひらがなを漢字などに変換するときに押す。 • 1つ前の変換に戻るとき（前候補）は、機能を押し、指を離してからこのキーを押す。

⑯	無変換 カタカナ変換	漢字に変換しないでひらがなのまま確定するときに押す。 ・入力中のひらがなをカタカナに変換するときは、機能を押し、指を離してからこのキーを押す。
⑰	単漢字	1文字ずつ漢字に変換するときに押す。
⑱	取消し	操作を戻したり、中止したりするときに押す。
⑲	機能	キーの上下または横に機能と同じ色で書かれている機能を使いたいときは、まずこのキーを押す。
⑳	シフト	・かな入力のとき、「っ」や「ょ」などの促音・拗音を入れる場合に押す。(51 ページ) ・アルファベットを入力しているとき、1 文字だけ大文字(または小文字)を入れる場合に押す。(54 ページ)
㉑	(文字キー)	文字を入れるときに押す。
㉒	(テープ長さダイレクト設定キー)	フリーラベルで長さを設定するときに押す。 ・フリーラベル以外では使用できません。

機能とシフトの操作には、以下の 2 つの方法があります。

1. 機能(シフト)を押し、指を離してから目的のキーを押す。
2. 機能(シフト)を押しながら目的のキーを押す。

・本書の操作説明は、「機能(シフト)を押し、指を離してから目的のキーを押す」で記載しています。

キーの表記について

●本文中では、操作手順の中で使うキー(ボタン)を1ぬや実行などのように表記しています。

例 1ぬを押したあとに続けて実行を押すときの表記

↓

1ぬ 実行と押します。

●本機のキーの上下または横に機能と同じ色で書かれている機能(「設定」や「カタカナ変換」など)を使うには、機能を押し、指を離してから機能と同じ色で書かれている機能名のキーを押します。

例「設定」機能を使うときの表記

↓

機能を押し、指を離してから8ゆ(設定)を押します。

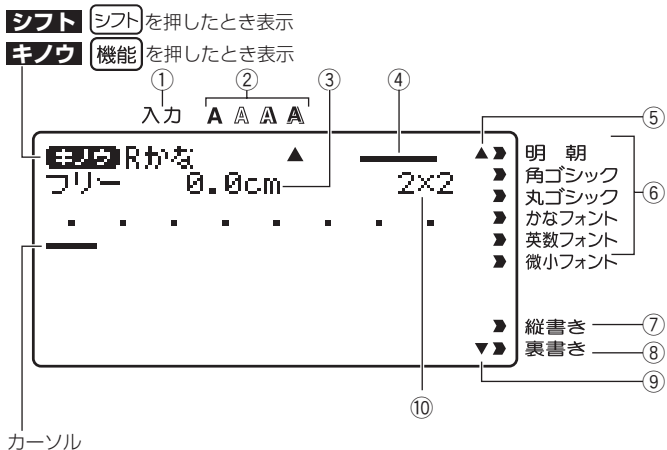
●操作手順の中で、「∧∨<>を押して…」「∧∨を押して…」「<>を押して…」と表記されているときは、そのキーのどれかを何回か押してください。4 つまたは 2 つのキーすべてを押す必要はありません。

● 1 つ前の画面に戻りたいときや、操作をやり直したいときは取消しを押します。

● 取消しを何回押しても希望の画面に戻らないときは、切を押して一度電源を切ります。入を押して再び電源を入れて、はじめから操作をやり直してください。

画面について

本機の画面には、いろいろなマークが出てきます。ここではそのマークの意味やはたらきについて説明します。

• 画面の明るさを変えるときは、64 ページをご覧ください。

①	入力できる文字の種類や入力方法を示す。(49、58 ページ)
②	文字体が何になっているか示す。(62 ページ)
③	いま作っているラベルの長さを示す。(39 ページ)
④	フリーラベルを選択したときのレイアウトを示す。(36 ページ)
⑤	いま見えている画面より上にも文字などがあることを示す。
⑥	書体(フォント)が何になっているかを示す。(59 ページ)
⑦	縦書きになっていることを示す。(36 ページ)
⑧	裏書きになっていることを示す。(36 ページ)
⑨	いま見えている画面より下にも文字などがあることを示す。
⑩	文字のサイズを示す。(42 ページ)

まずは作ってみましょう

準備ができたら、試しに「ラベルの印刷」をしてみましょう。

ラベルを印刷する

[印刷例]

営業レポート

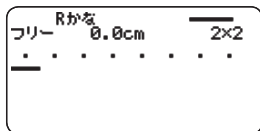
1 **入を押して、電源を入れます。**

- 右の画面の代わりに「前回データ」を含む画面が表示されることがあります。（14 ページ）

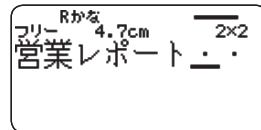
2 **∧∨＜＞を押して「新規」にし、実行を押します。**

3 **∧∨＜＞を押して作りたいラベルの種類を選び、実行を押します。**

ここでは「フリーラベル」を選びます。

- フリーラベルで入力できる文字数は、127 文字です。

4 **文字を入力します。**

ここでは「営業レポート」と入力します。

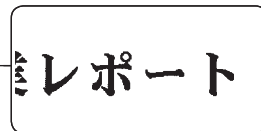
- 文字の入力方法については、24 ページをご覧ください。
- ひらがなを漢字に変換したときは、最後に実行を押して確定してください。

■印刷結果を画面で確認する

印刷する前に、印刷結果を画面で確認することができます。テープカートリッジをセットしていないと、印刷結果を画面で確認することはできません。

1 **印刷プレビューを押します。**

2 **じっくりと見たい部分が流れてきたら、実行を押します。**

その部分が止まります

レポート

実行を押すと、再びプレビュー画面が流れます。

- プレビュー表示を中止するときは取消しを押します。
- 細い線のある文字や字画の多い漢字は正しくプレビュー表示されないことがあります。

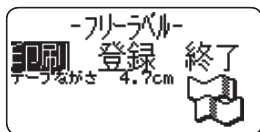
■印刷する

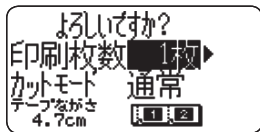
作成したラベルは簡単に印刷できます。複数枚を連続して印刷することもできます。また、テープをカットする方法も選ぶことができます。

- ご使用前に、「安全上のご注意」の「オートテープカッターに注意する」（5 ページ）を必ずご覧ください。
- ラベルの長さの表示は一応の目安です。ご使用の環境や印刷する内容によっては、実際のラベルの長さと完全には一致しません。

重要 印刷する前に、以下の点にご注意ください。

- 印刷時の注意事項（24 ページ）を必ずご覧ください。
- 「テープカートリッジがセットされていること」、「テープ出口（9 ページ）が物でふさがっていないこと」を確認してください。

1 **文字を入力したら、［実行］を押します。**

2 **［印刷］になっていることを確認して、［実行］を押します。**

よろしいですか?
印刷枚数 1枚
カットモード 通常
テープながさ 4.7cm

3 **［＜］［＞］を押して、印刷する枚数を指定します。**

ここでは「1 枚」にします。

- ［＜］を押すと数字が減り、［＞］を押すと数字が増えます。
- 数字を直接入力することもできます。一度に、100 枚まで指定できます。0 枚を指定することはできません。

4 **［∨］を押します。**

5 **［＜］［＞］を押して、カットモードを指定します。**

- ラベル間の台紙を切らずに印刷するときは、「通常」を指定します。
- ラベルごとに切り離すときは、「切り離す」を指定します。
- 自己粘着テープ・布転写テープ・インスタントレタリングテープをセットしているときは、「特殊テープ」を指定します。
- 反射テープ・マグネットテープ・アイロン布テープをセットしているときは、「カットしない」を指定します。

ここでは「通常」にします。
カットモードについて詳しくは、25 ページをご覧ください。

6 **［実行］を押します。**

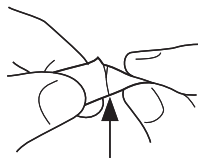
印刷が始まります。

- 印刷を途中でやめるときは、［取消し］を押します。

ラベルを貼る

1 **必要に応じて、ハサミなどで好きな大きさ・形にします。**

2 **ラベルの裏をはがして、貼ります。**

●ハーフカット部分からはがすとき
ハーフカット部分をゆっくりとひねるようにして、テープを台紙からはがします。

●フルカットされたラベルをはがすとき
ラベルの角を折り曲げると、はがしやすくなります。

・一度貼ったラベルをはがすと、貼っていた場所にテープのノリが残ることがあります。

次のようなものや場所にラベルを貼らないでください。
- 直射日光や雨が当たるもの
- 人や動物の体
- 他人の家の塀や電柱など
- 電子レンジで加熱に使う容器

ラベルが貼りにくいものは
・表面がざらざらしているところ
・表面に水や油、ホコリなどが付いているところ
・特殊なプラスチック材料（シリコン系・PP 材など）

テープを空送りする

印刷する前や印刷した後に、テープを白紙で送ることができます（テープ送り）。

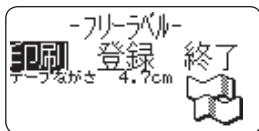
1 **[機能] [0 をわ]（テープ送り）と押します。**
↓
テープが約 21.5mm 送られます。

テープの余白を「送り無」にしたときは

テープの余白を「送り無」と設定したときは（38 ページ）、印刷が終わっても自動的にテープはカットされません。次の手順に従って、テープをカットしてください。

1 **[機能] [9 ょよ]（テープカット）と押して、テープをカットします。**

重要 テープをカットするときは、本機を傾けないでください。
また、テープを引っぱったり、カバーを開けたりしないでください。

終了する

1 **上の画面が表示されているときに[<][>]を押して 終了 にし、[実行]を 2 回押します。**

以下の画面に戻ります。

・「登録」については、46 ページをご覧ください。

文字の入力について

■「営業」を入力します。

ローマ字入力、またはかな入力を選ぶことができます。
ここでは、ローマ字入力を選びます。(49 ページ)

1 [あア]を何回か押して、画面左上に「R かな」を表示させせます。
2 [Eい][Iに][Gき][Yん][Oら][Uな]
3 [変換]を何回か押して、「営業」が画面に表示されたら[実行]を押します。

■「レポート」を入力します。

1 [あア]を何回か押して、画面左上に「R カナ」を表示させせます。
2 [Rす][Eい][Pせ][Oら][¥ ?][Tか][Oら]

• 誤った文字を入力したときは、[文字削除](56 ページ)や[後退](57 ページ)を押して、文字を消してから、正しい文字を入力してください。
• **文字入力方法について、詳しくは「入力・編集編」(48 ページ)をご覧ください。**

印刷時の注意事項

印刷するときには以下の点に注意してください。

• 印刷中に、絶対に電源を切らないでください。
• 印刷中に、テープカートリッジ収納部のカバーを絶対に開けないでください。(9 ページ)
• 印刷中に出てきたテープは、「自動的にカットされる」または「印刷が終了する」まで触らないでください。
• 印刷の途中でテープがなくならないように十分残量のあるテープカートリッジをご使用ください。印刷の途中でテープがなくなったときは、[取消し]を押して印刷を中止してください。
• テープ出口の周りに、カットされたテープがたまらないようにしてください。カットされたテープがテープ出口をふさいでしまうと、テープが詰まったり、故障の原因になります。
• 1度に印刷されるラベルの長さが極端に長い場合は、印刷できません。ラベルの長さを短くする、または、印刷枚数を減らして、印刷し直してください。

印刷とカットモード

カットモードについて（オートカッター）

複数枚のラベルを印刷するときは、ラベルとラベルの間を自動的に切り離すか切り離さないか選ぶことができます。また、テープによっては、本機のカッターでカットするとカッター部が摩耗し、故障の原因となることがありますので、注意してください。

- 下記のテープは特殊なテープです。必ず下表を確認し、「特殊テープ」または「カットしない」に設定して使用してください。

テープ	設定
•自己粘着テープ •布転写テープ •インスタントレタリングテープ	**特殊テープ**
•マグネットテープ •反射テープ •アイロン布テープ	**カットしない**

■カットのしかたについて

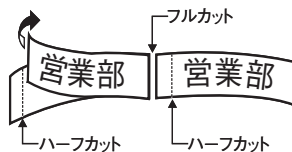
カットのしかたには 2 つあります。

●ハーフカット

台紙はカットしないで、シール部分だけをカットします。はがすときは、ハーフカットした部分からはがしてください。

- 「テープ幅の細い 3.5mm や 6mm テープ」や「薄いメンディングテープ」は、ハーフカットできないことがあります。

●フルカット

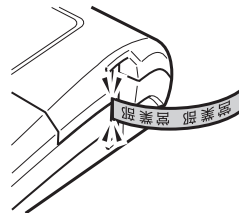
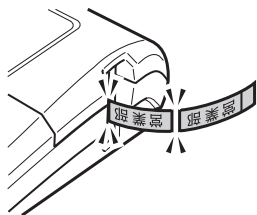
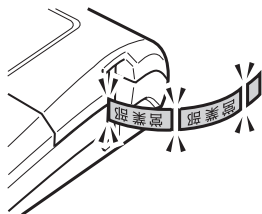
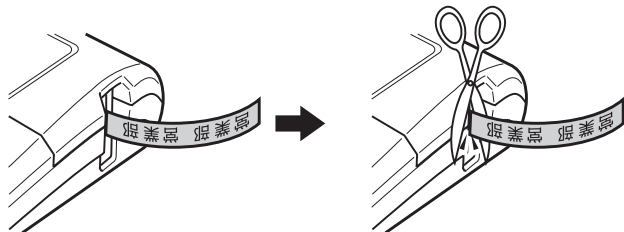
台紙もシールもカットします。

■４つのカットモード

カットモードは４つあります。

- カットモードは、「印刷する」の手順 **5**（22 ページ）で設定します。
- 余白の設定によって、カットのしかたと余白部分の長さは異なります。詳しくは「カットのしかたと余白について」（27 ページ）をご覧ください。
- 書式で「余白　送り無」に設定したときは、どのカットモードを選択しても、フルカットとハーフカットはされません。（23 ページ）
- テープの長さが下記のときは、テープカットされないことがあります。印刷終了後、ハサミなどで切ってください。

余白小	余白中	余白大
約 28mm 以下	約 35mm 以下	約 45mm 以下

●通常

- ラベル間はハーフカットされます。台紙がつながっているので、ラベルがバラバラになることがありません。
- 先頭には余白が付き、はがしやすいようにハーフカットされます。
- すべての印刷が終了すると、フルカットされます。

●切り離す
- ラベルごとにフルカットします。
  2 枚以上印刷するときは、カットされたラベルがテープ出口をふさがないようにご注意ください。テープ出口をふさいでしまうと、テープ詰まりや故障の原因となります。
- 各ラベルの先頭には余白が付き、はがしやすいようにハーフカットされています。

●特殊テープ
- 自己粘着テープ・布転写テープ・インスタントレタリングテープに印刷するときに設定します。
- 各ラベルごとにフルカットされます。
- 「余白　小」「余白　中」を設定してあるときは、印刷中に、余分なテープが自動的にフルカットされます。

●カットしない
- ラベル間はカットしません。
- マグネット・反射テープ・アイロン布テープに印刷するときは、必ず「カットしない」に設定してください。
- 印刷終了後、[機能]を押し、指を離してから[0 を わ](テープ送り)を押してテープ送りをしたあと、ハサミなどでラベルをカットしてください。

反射テープ、マグネットテープ、アイロン布テープについて
反射テープ、マグネットテープ、アイロン布テープは特殊な処理をしてあるテープです。
カットするときは、フルカット / ハーフカットはしないで、下記の手順に従ってハサミなどをお使いください(アイロン布テープは、必ず、布などを切る裁ちばさみをお使いください)。
なお、本機のフルカット / ハーフカットで**反射テープ、マグネットテープ、アイロン布テープ**をカットすると、カッター部分の寿命が短くなり、ハーフカッター部分が破損することがあります。ご注意ください。
1 書式の全文書式で、余白を「送り無」にする（38 ページ）またはカットモードで「カットしない」にする
2 印刷する
3 [機能][0 を わ](テープ送り)と押して、テープ送りをする
4 **反射テープ、マグネットテープ**または**アイロン布テープ**を取り出し、ハサミなどを使ってカットする
- ご使用後は、必ず本機から取り出して保管してください。

カットのしかたと余白について

カットモードと余白の設定によって、カットのしかた（フルカット／ハーフカット）と余白の長さは異なります。

カットモード		通常			切り離す			特殊テープ			カットしない		
カットのタイミング／余白		先頭の余分な部分のカット	1枚終了ごとのラベルのカット	印刷終了時のラベルのカット	先頭の余分な部分のカット	1枚終了ごとのラベルのカット	印刷終了時のラベルのカット	先頭の余分な部分のカット	1枚終了ごとのラベルのカット	印刷終了時のラベルのカット	先頭の余分な部分のカット	1枚終了ごとのラベルのカット	印刷終了時のラベルのカット
余白小	カット	ハーフカット	ハーフカット	フルカット	ハーフカット	フルカット	フルカット	フルカット	フルカット	フルカット	無し	無し	無し
	余白	16.5mm	3mm	3mm	16.5mm※1 5mm※2	3mm	3mm	21.5mm	3mm	3mm	21.5mm	3mm	3mm
余白中	カット	ハーフカット	ハーフカット	フルカット	ハーフカット	フルカット	フルカット	フルカット	フルカット	フルカット	無し	無し	無し
	余白	9.5mm	10mm	10mm	9.5mm※1 5mm※2	10mm	10mm	21.5mm	10mm	10mm	21.5mm	10mm	10mm
余白大	カット	ハーフカット	ハーフカット	フルカット	ハーフカット	フルカット	フルカット	無し	フルカット	フルカット	無し	無し	無し
	余白	5mm	19.5mm	19.5mm	5mm※1 5mm※2	19.5mm	19.5mm	–	19.5mm	19.5mm	–	19.5mm	19.5mm
送り無	カット	無し	無し	無し	無し	無し	無し	無し	無し	無し	無し	無し	無し
	余白	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–

※1：1枚目の印刷のとき
※2：2枚目以降の印刷のとき

ラベル作成編

ラベル作成の流れ

ラベルを印刷するときは、以下の手順で操作してください。

操作の流れ

1 ラベルの種類を選ぶ
フリーラベル.......... 35 ページ
用途別ラベル.......... 29 ページ
ナンバリング.......... 31 ページ

登録してあるデータを呼び出して使うときは（47 ページ）

前回作成したデータを使うときは（14 ページ）

2 文字を入力する（49 ページ）

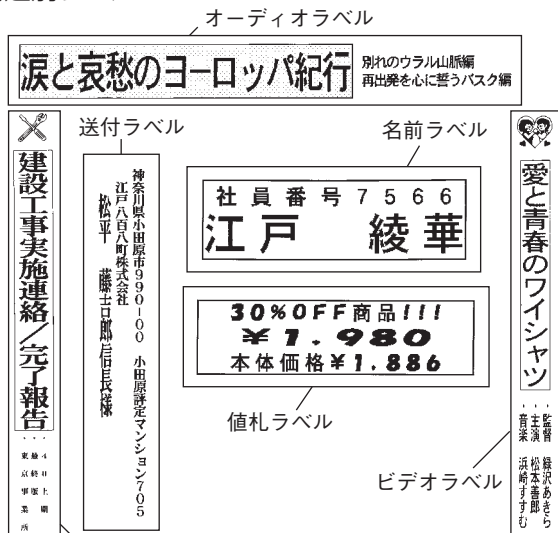
3 文字を修飾する
書体（フォント）を変える（59 ページ）、文字を目立たせる（文字体）（62 ページ）

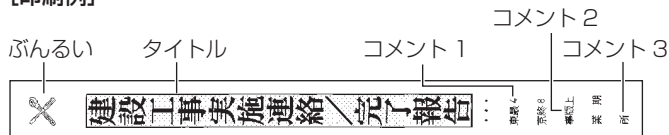
ラベルを印刷（22 ページ）・登録（46 ページ）・終了する

フォーマットを選んで作る（用途別ラベル）

本機には、豊富なラベルのフォーマットが内蔵されており、用途に応じたラベルが簡単に作れます。

• ここで紹介するラベルは、本機で作成できるラベルの一例です。

用途別ラベル

• 名前ラベル・ファイルラベル・送付ラベル・ビデオラベル・オーディオラベル・値札ラベルがあります。用途に応じて選択してください。

［印刷例］

（9mm 幅テープ / ファイル / ファイル背 / 小 3）

重要 79 ページをご覧になりフォーマットに適した幅のテープカートリッジをセットしてください。

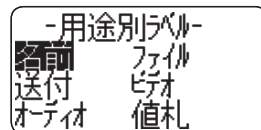
フォーマットを選ぶ

1 **入を押して、電源を入れます。**

• ご使用の状況によっては、右の画面の代わりに「前回データ」を含む画面が表示されます（14 ページ）。

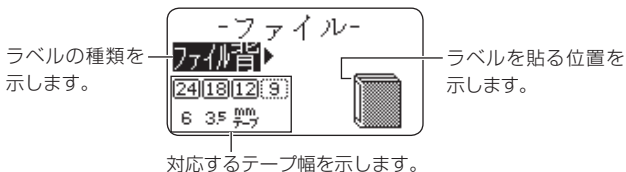
2 **∧∨＜＞を押して「新規」を選び、実行を押します。**

3 **∧∨＜＞を押して「用途別ラベル」を選び、実行を押します。**

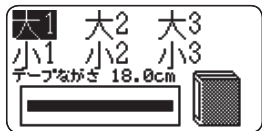
-用途別ラベル-
名前　ファイル
送付　ビデオ
オーディオ　値札

4 ［∧］［∨］［＜］［＞］を押して作成するラベルの種類を選び、［実行］を押します。

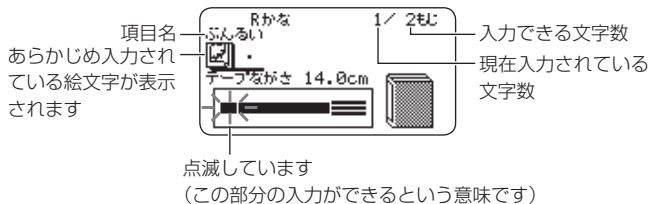
ここでは「ファイル」を選びます。
フォーマット選択画面が表示されます。

フォーマット選択画面について

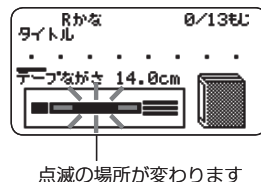
ここでは、例として、「ファイル背」の画面を説明します。

9 18 ･･･ 使用できるテープ幅は、実線または点線で囲まれます。
18 ･･･････ 最も適したテープ幅は、実線で囲まれます。
6 ･･･････ 使用できないテープ幅は、囲まれません。

5 ［＜］［＞］を押して、「ファイル」ラベルの種類を選び、［実行］を押します。

ここでは「ファイル背」を選びます。

6 ［∧］［∨］［＜］［＞］を押してフォーマットを選び、［実行］を押します。

詳しくは「用途別ラベルフォーマット一覧」（79 ページ）をご覧ください。
ここでは「小 3」を選びます。
文字入力画面が表示されます。

7 画面の絵文字を必要に応じて変更し、［実行］を押します。

- 選んだフォーマットの種類や項目によって、絵文字が入力されていたり、入力されていなかったりします。
- 他の絵文字に変えるときは、56 ページをご覧ください。

点滅の場所が変わります

8 文字を入力し、実行を押します。

ここでは「タイトル」「コメント 1」「コメント 2」「コメント 3」に入力します。

- 枠が付けられるフォーマットの場合は、機能を押し指を離してから文字修飾 3 # あを押し、枠付「あり／なし」のどちらかを選ぶことができます。

これでラベルデータが完成しました。

- ラベルデータを印刷するときは→ 22 ページ
- ラベルデータを登録するときは→ 46 ページ

印刷の書式を設定したい

文字の入力中に、お好みで印刷の書式を設定することができます。
- 印刷方向の「横書き／縦書き」を設定する
- 「裏書き」印刷の「する／しない」を設定する

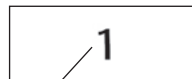
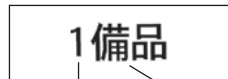
上記の設定をするには、文字入力中に書式を押して、書式設定画面を表示させ、設定をします。

通し番号のついたラベルを作る（ナンバリング）

ページ番号や通し番号がついたラベルを作る（連番印刷）ことができます。

重要 3.5mm 幅のテープカートリッジは使用できません。

ナンバリングの種類

- フォーマット 1

- フォーマット 2

- フォーマット 3

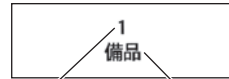
- フォーマット 4

コメント1(50 文字まで)　ナンバー　コメント2(50 文字まで)

- フォーマット 5

ナンバー　コメント(50 文字まで)

- フォーマット 6

ナンバー　コメント(50 文字まで)

- 印刷するたびに、“ナンバー”が一つずつ繰り上がっていきます。
- 上の例は 18mm 幅テープで作成しました。

［印刷例］

備品No.15（総務管理）
備品No.16（総務管理）
備品No.17（総務管理）

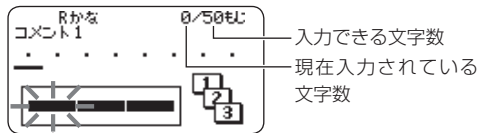
「備品 No.15（総務管理）」～「備品 No.17（総務管理）」のラベルを印刷します。

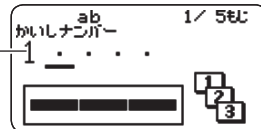
重要 ナンバリング印刷では、指定枚数分を連続して印刷します。印刷の途中でテープがなくならないように、十分残量のあるテープカートリッジをご使用ください。印刷の途中でテープがなくなってしまったときは、［取消し］を押して印刷を中止してください。

1 **（入）を押して、電源を入れます。**

2 **［∧］［∨］［＜］［＞］を押して「新規」を選び、［実行］を押します。**

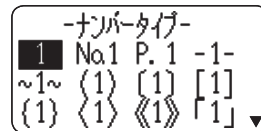
3 **［∧］［∨］［＜］［＞］を押して「ナンバリング」を選び、［実行］を押します。**

4 **［∧］［∨］［＜］［＞］を押してフォーマットを選び、［実行］を押します。**
ここでは「4」を選びます。

点滅しています
（この部分の入力ができるという意味です）

5 **「コメント 1」の文字を入力し、［実行］を押します。**
ここでは「備品」と入力します。

6 **ナンバリングの先頭になる数字に変更し、［実行］を押します。**
ここでは、「No.15」～「No.17」のラベルを作るので、「15」を入力します。

- 先頭になる数字を変更するときは、数字を削除して入力し直してください。5 桁まで入力できます。

7 **「コメント 2」の文字を入力し、［実行］を押します。**
ここでは「（総務管理）」と入力します。

-ナンバータイプ-
1　No.1　P.1　-1-
~1~　(1)　[1]　[1]
{1}　〈1〉　《1》　「1」

8 **［∧］［∨］［＜］［＞］を押してナンバリングの形を選び、［実行］を押します。**
ここでは「No.1」を選びます。

9 **［＜］［＞］で印刷を選び、［実行］を押します。**

重要 印刷するときは、24 ページの注意事項をご覧ください。

10 **〈〉〈〉を押して連番として印刷する枚数を設定し、連番の開始と終了の番号を確認してから実行を押します。**

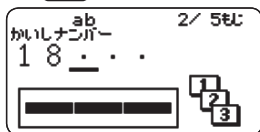
ここでは、15、16、17 番を印刷するので、「3」を設定します。

- 1 ～ 100 までを入力できます。
- 直接数字を入力することもできます。

11 **〈〉〈〉を押してカットモードを設定し、実行を押します。**

- カットモードについて詳しくは、25 ページをご覧ください。

印刷が開始されます。終了すると、右の画面が表示されます。

- ナンバー「99999」の次は、「00000」が印刷されます。
- 「長さオーバー　印刷できません」「長さが短すぎてカットできませんがよろしいですか？」と表示されたときは、72 ページをご覧ください。

表示される番号は、作成するラベルによって異なります。

- **テープ出口の周りに、カットされたテープがたまらないようにしてください。カットされたテープが出口をふさいでしまうと、テープが詰まったり、故障の原因になります。**

- ラベルデータを登録するときは→ 46 ページ

印刷の書式を設定したい

文字の入力中に､お好みで印刷の書式を設定することができます。

- 印刷方向の「横書き／縦書き」を設定する
- 「裏書き」印刷の「する／しない」を設定する
- 「余白」の設定をする

上記の設定をするには、文字入力中に書式を押して、書式設定画面を表示させ、設定をします。

ロゴ入りのラベルを印刷する（デザインロゴ）

オフィス、工場・建設などの現場、家庭などでよく使う表現を選ぶだけで、イラストや文字の入ったアテンション効果に優れたラベルを作ることができます。

[印刷例]　㊙ 重要書類

- 印刷可能なデザインロゴについては、デザインロゴ一覧（83 ページ）をご覧ください。
- デザインロゴを印刷できるのは、12mm、18mm、24mm 幅のテープです。

1 **入を押して、電源を入れます。**

2 **〈〉〈〉〈〉〈〉を押して「デザインロゴ」を選び、実行を押します。**

- 上記の操作の代わりにデザインロゴを押しても同じ画面に進めます。

3 **〈〉〈〉〈〉〈〉を押してグループを選び、実行を押します。**

ここでは「書類」を選びます。

4 **〈〉〈〉でロゴデータを選びます。**

ここでは「② 重要書類」を選びます。

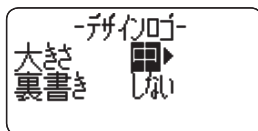
5 [印刷プレビュー]を押すと、選択しているロゴのデザインを確認することができます。

・このとき表示されるのは「大きさ　中」で印刷した場合のデザインです。

6 じっくりと見たい部分が流れてきたら、[実行]を押して画面を停止させます。

[実行]を押すと、再びプレビュー画面が流れます。

・プレビュー表示を中止するときは、[取消し]を押します。

7 [実行]を押します。

8 [＜][＞]を押して、印刷する大きさを選びます。

・大きさは「小」「中」「大」の３種類から選べます。

・印刷したときのデザインロゴの大きさは下の表のとおりです。

・「裏書き」にしたいときには、[∨]を押して、[＜][＞]で**する**を選びます。

9 [実行]を押します。

10 [＜][＞]を押して**印刷**を選び、[実行]を押します。

重要 印刷するときは、24 ページの注意事項をご覧ください。

11 [∧][∨][＜][＞]で印刷枚数、カットモードを指定します。

・カットモードについて（25 ページ）

12 [実行]を押します。

・印刷が開始されます。

デザインロゴ印刷時の大きさ

（サイズはいずれも 縦 × 横 で記載）

	24mm ／ 18mm 幅			12mm 幅			9mm 幅以下
	倍率（%）		データの大きさ	倍率（%）		データの大きさ	
	縦	横		縦	横		
小	120	90	12 × 41mm	100	80	10 × 36mm	（不可）
中	120	120	12 × 54mm	100	100	10 × 45mm	（不可）
大	120	150	12 × 68mm	100	120	10 × 54mm	（不可）

自由に入力して作る（フリーラベル）

ここでは自由に入力してラベルを作る（フリーラベル）方法について説明します。

操作を簡単に説明しますと、以下のようになります。

1 入を押して、電源を入れます。

2 ∧∨＜＞を押して「新規」にし、実行を押します。

3 ∧∨＜＞を押して「フリーラベル」を選び、実行を押します。

4 自由に文字を入力します。

- フリーラベルの作り方について詳しくは 21 ページをご覧ください。

2 行以上のラベルを作る

2 行以上の文章を含むラベルを作ることができます。
作れる行数は、セットしてあるテープの幅によって違います。

重要 3.5mm 幅テープでは、2 行以上のラベルは作れません。

テープの幅	最大行数
3.5mm	1 行
6mm	2 行
9mm	3 行

テープの幅	最大行数
12mm	5 行
18mm	6 行
24mm	6 行

- テープの幅と行数に合わせて、自動的に文字の大きさは変わります。**（ジャストフィット印刷）**
- 文字の大きさを自由に決めた場合（42 ページ）も、文字の大きさは行数に合わせて自動的に変わります。

［印刷例］ **顧客リスト**
最新版
（18mm 幅テープ）

1 1 行目を入力します。
ここでは「顧客リスト」と入力します。

2 ↵を押します。

3 **２行目を入力します。**
ここでは「最新版」と入力します。

文字の大きさが行数に合わせて自動的に変わります。

作っているラベルのレイアウト（イメージャー表示）線の数は行数を表わし、線の太さは文字の大きさをイメージで表します。

改行マークが入ります（画面だけの印なので印刷されません）

- 文字を全部入力した後に、行を変えることもできます。行を変えたい位置で、[↵]を押します。
- 改行を取り消すときは、[文字削除]を押してマークを削除します。[後退]を押しても「↵」マークを削除することはできません。
- イメージャー表示は、微小フォントでの印刷のときは「5/6」というような表示になります。これは、「行数は６行で、カーソルが合っているのは５行目」という意味です。
  微小フォントでの印刷について→ 43 ページ。
- セットされているテープ幅に合わない行数にすると、「行数オーバー　印刷できません」と表示され、印刷することはできません。そのときは行数を減らしてください。
- ラベルデータを印刷するときは→ 22 ページ
- ラベルデータを登録するときは→ 46 ページ

ラベルの書式を決める

ラベルの長さ·文字間隔·文字のバランスなど、ラベルをどのようなルール（書式）で作るのかを決めます。

■設定できる内容

方向	文字の向きを横書きにするか、縦書きにするかを決めます。
文字割付	文字のバランスを決めます。　➜ 41 ページ参照
文字間隔	文字と文字のピッチ（間隔）を決めます。
裏書き	・布転写テープカートリッジ（別売）を使用してハンカチやＴシャツなどにアイロンプリントするときに設定します。 アイロン布テープ（別売）を使用してアイロンプリントするときには、裏書きの設定は必要ありません。 ・テープ色が透明なテープカートリッジ（別売）を使用してガラスなど透明なものに裏から貼るときに設定します。
余白	ラベルの前後につくスペースの長さを選びます。　➜ 38 ページ参照
テープ長	ラベル全体の長さを自由に決めます。　➜ 39 ページ参照

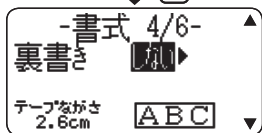
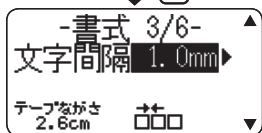
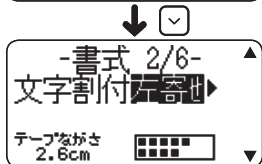
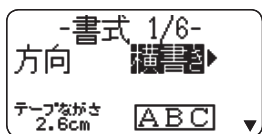
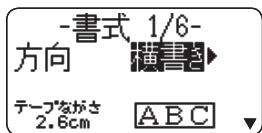
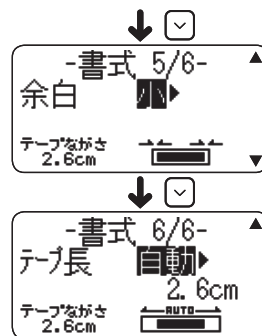
■設定する（フリーラベルの場合）

1 **文章を入力します。**

2 **[書式]を押します。**

3 **各項目を設定します。**

- [∧][∨]を押して設定項目を選びます。
- [<][>]を押して希望の項目を表示させます。

設定項目	内　　容
方向	文字を縦書きにするか横書きにするかを選ぶ
文字割付	文字のバランス（左寄せ / 均等 / 中寄せ / 右寄せ）を設定する ➜41 ページ参照
文字間隔	文字と文字の間隔（0.0 ～ 31.9mm）を指定する （[<][>]を押すと間隔が変わり、それに合わせてテープ長さの数値も変わる） ・「文字割付」を「均等」、「テープ長」を「固定」とした場合は、文字間隔の指定はできません。
裏書き	文字を裏書きで印刷するかしないかを選ぶ。裏書きにしないときは「しない」を選ぶ
余白	ラベルの前後につくスペースの長さを選ぶ
テープ長	・自動：文字数に合わせて自動的にラベルの長さを調節する ・ラベル全体の長さを任意に設定するときは、[<][>]を押して「固定」を選ぶ ➜39 ページ

4 **各項目を設定したら、[実行]を押します。**

■設定する（用途別ラベル、ナンバリングの場合）

1 **文章を入力します。**

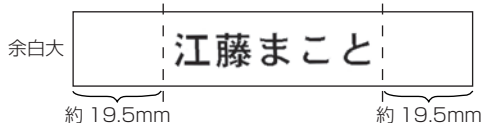
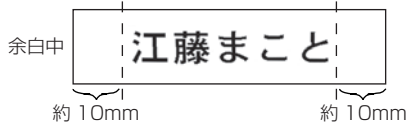
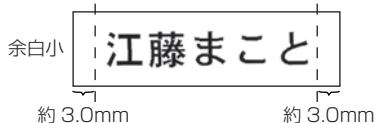
2 **[書式]を押します。**

3 **[<]または[>]で、「方向」「裏書き」または「余白」を選び、[実行]を押します。**

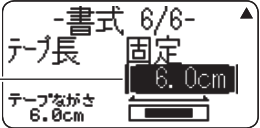
- 用途別ラベルでは「余白」を選ぶことはできません。

4 **[<]または[>]で、お好みの項目を選び[実行]を押します。**

余白について

ラベルの前後に付くスペースを余白といいます。
次の 3 種類の余白を選べます。

重要 テープの長さが短い（余白小のとき：約 28mm 以下、余白中のとき：約 35mm 以下、余白大のとき：約 45mm 以下）場合には、余白カットをしないことがあります。印刷が終わった後で、ハサミなどで余白をカットしてください。

送り無 江藤まこと江藤まこと

- 「送り無」と設定し、連続して印刷すると、ラベルとラベルを密着させて印刷することができます。
- 「送り無」と設定したときは、テープは自動的にはカットされません。テープをカットするときは、［機能］を押し、指を離してから［9 よ］（テープカット）を押してください。先頭のラベル余白は、ハサミなどでカットしてください。

ラベルの長さを自由に決める

ラベルは文字の大きさや文字数に合わせて最適な長さで印刷されます。ここではラベルの長さを自由に設定する方法を説明します。

ラベルの長さを決める方法には、次の 2 つがあります。

●ラベル全体の長さを自由に設定する（テープ長固定）。

● CD ／ DVD ケース・ファイル用のラベルなど、よく作るラベルの長さを設定する（テープ長さダイレクト設定キー）。

・ラベルの長さの表示は一応の目安です。ご使用の環境や印刷する内容によっては、実際のラベルの長さと完全には一致しません。

ラベル全体の長さを自由に設定する（テープ長固定）

1 **文字を入力します。**

2 **[書式]を押します。**

3 **[∧][∨]を押して、「テープ長」を画面に表示させます。**

4 **[<][>]を押して、「テープ長 固定 」にし[∨]を押します。**

5 **数値キーまたは[<]（減）・[>]（増）を押して、ラベルの長さを設定します。**

・直接数字を入力することもできます。

・テープ長さと入力されている文字により、次のようになります。

(4.0cm]

文字を横方向に縮めて指定通りに印刷

営業部

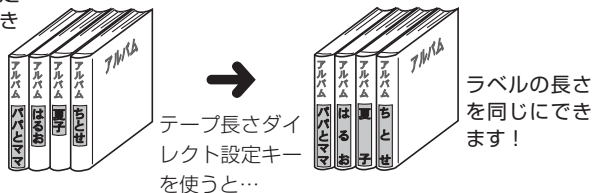
2.0cm]

指定した長さより長く印刷

＊ 文字が印刷方向に 50%縮小されて印刷されます。また、印刷されたテープは指定より長くなります。

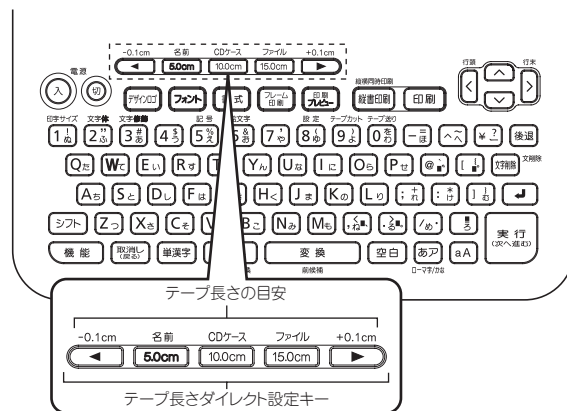
6 **[実行]を押します。**

CD/DVD のケース・ファイル用のラベルなどを簡単に設定する（テープ長さダイレクト設定キー）

テープ長さダイレクト設定キーを使えば、CD や DVD のケース、ファイル用のラベルなど、よく作成するラベルの長さを簡単に設定できます。また、同じ長さを簡単に設定できるので、長さのそろった複数のラベルも簡単に作成できます。

- テープ長さダイレクト設定キーで設定した長さは、テープ長固定と連動します。また、テープ長さダイレクト設定キーで設定すると、「文字割付：均等」に設定されます。
- フリーラベル以外では、テープ長さダイレクト設定キーは無効となります。

設定できる長さ

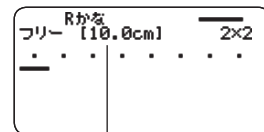
テープ長さダイレクト設定キー	適したもの
15.0cm	ペーパーファイル・バインダーなど
10.0cm	CD・DVD ケースなど
5.0cm	名前シールなど

- 1mm 単位で長さを調整することもできます。

設定する

［例］ CD・DVD ケース用のラベルの長さを設定する

1 **［10.0cm］を押します。**

［+0.1cm ►］を押すと長くなり、［-0.1cm ◄］を押すと短くなります。

- 文字入力はラベルの長さを設定する前でも設定したあとでも構いません。

長さが 10.0cm に変わります。

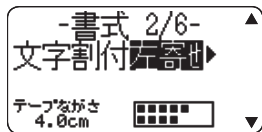
文章のバランスを整える（割付）

文字や文章のバランスを整えることができます。

左寄せ	江藤まこと
均等	江　藤　ま　こ　と
中寄せ	江藤まこと
右寄せ	江藤まこと

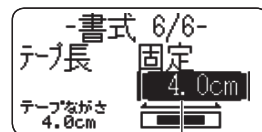
1 文字を入力します。

2 [書式]を押します。

3 [∧][∨]を押して、「文字割付」の設定画面にします。

4 [<][>]を押して、希望の割付の種類を表示させます。

[<][>]を押すたびに、均等 中寄せ 右寄せ 左寄せ と割付の種類が変わります。

5 [∧][∨]を押して、「テープ長」を画面に表示させます。

6 [<][>]を押して、「テープ長　固定」にし、[∨]を押します。

数値が反転します

7 数値キー、または[<]（減）・[>]（増）を押して、希望の数字（ラベルの長さ）にし、[実行]を押します。

元の長さより長い数値にします。

2行以上の文章のときは、「テープ長　自動」を選んでも、割り付けすることができます。そのときは次のように文字数の少ない方が割付の対象になります。

左寄せ	中寄せ	右寄せ	均等
下期 販促資料①	下期 販促資料①	下期 販促資料①	下　　期 販促資料①

文字の大きさを決める

ラベルを作ると、最適な文字サイズで印刷されます。これは、セットされているテープの幅と文章の行数に合わせて、最適な文字サイズを自動的に設定しているためです**（ジャストフィット印刷）**。
ここではジャストフィット印刷ではなく、文字の大きさを選択して決める方法を説明します。

文字単位で「1 × 1」～「4 × 4」倍まで文字サイズを選択できます。テープの幅によって、印刷できる文字サイズの最大値（縦方向）は異なります（テープ幅と行数・倍率一覧 82 ページ）。

1 × 1

禁煙

2 × 3

禁煙

4 × 4

禁煙

・縦書きと横書きとでは、印刷結果が異なる場合があります。例えば、1 × 2 と指定すると、横書きでは横長に、縦書きでは縦長に印刷されます（上の印刷例はすべて横書きで作成しています）。

1 × 2（横書き）

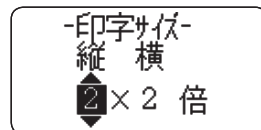
終日禁煙

1 × 2（縦書き）

終日禁煙

［例］　「終日禁煙」の「終日」を 1 × 3 にする

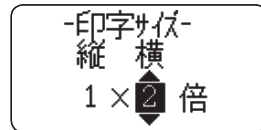
1 **文字を入力します。**

2 **機能を押し、指を離してから 1（印字サイズ）を押します。**

3 **∧∨を押して、「縦」の倍率を設定します。**

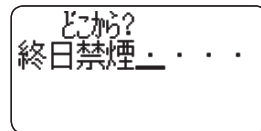
ここでは縦倍率を「1」にします。

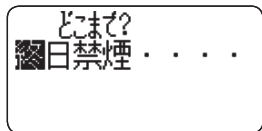
- 直接数字を入力することもできます。
- 不適切な倍率は入力できません。

4 **＞を押して、「横」の倍率数値を反転させます。**

- 数字を入力したときは、自動的に「横」の倍率数値が反転します。

5 **∧∨を押して「横」の倍率を設定し、実行を押します。**

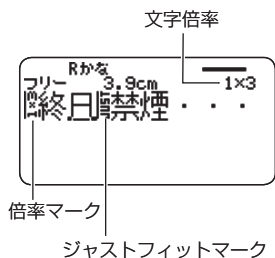
ここでは横倍率を「3」にします。

どこから?
終日禁煙_・・・

6 [<][>]を押して大きさを変える最初の文字にカーソルを合わせ、[実行]を押します。

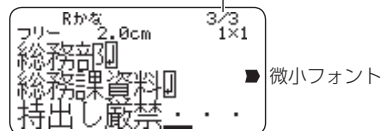
ここでは「終」を指定します。

7 [<][>]を押して大きさを変える最後の文字を選び、[実行]を押します。

ここでは 終日 にします。

文字倍率：カーソルが合っている文字の大きさを表します。
倍率マーク：印刷される文字の大きさを表します。

ジャストフィットマーク：
自動的に付きます。このマークより後ろの文字はジャストフィット印刷に従った大きさで印刷されます。

- 倍率マークやジャストフィットマークは画面には表示されますが、印刷されません。
- 文字サイズの指定を取り消すときは、倍率マークを[文字削除]で削除します。
- 倍率マークを削除した場合、文字サイズはテープ幅や入力文字の行数に合わせて自動設定されます。
  ただし、削除した倍率マークよりも左側に倍率の指定があるときは、その倍率になります。

微小フォントについて

●行数（入力した行数または選んだフォーマットの行数）と、テープ幅によって、「微小フォント」となります。
●このとき、画面右の「▶ 微小フォント」が点灯します。
●フリーラベルでは、分数でイメージャー表示されます。

- イメージャー表示については、「2 行以上のラベルを作る」の手順 **3**（36 ページ）をご覧ください。

●微小フォントでは、次のような特徴があります。
- フォントの設定は、無効です（すべて同じフォントで印刷されます）。
- 文字体または文字修飾を設定すると、きれいに印刷できないことがあります。
- 絵文字は、きれいに印刷できないことがあります。

フレームを付ける

フリーラベルの文章にいろいろなフレームを付けることができます。
フレームの一覧は 78 ページをご覧ください。

重要 3.5mm 幅テープにフレームを付けることはできません。

[印刷例] ノー残業デー

（18mm 幅テープ／フレーム番号＝ 52）

1 **文字を入力します。**

2 **[フレーム印刷]を押します。**

3 **[∧][∨][<][>]を押して使うフレームを選び、[実行]を押します。**
ここではを選びます。

4 **[<][>]で 印刷 を選び、[実行]を押します。**

重要 印刷するときは、24 ページの注意事項をご覧ください。

5 **数字キー（または[<][>]）を押して印刷枚数を設定し[∨]を押します。**
1 〜 100 枚まで設定できます。

6 **[<][>]を押してカットモードを設定し[実行]を押します。**
印刷が開始されます。
- カットモードについて（25 ページ）
- 「文字修飾」の指定は無効になります。

フレーム印刷できる行数

テープ幅によって、フレーム印刷できる行数は異なります。

	24/18mm 幅	12mm 幅	9mm 幅	6mm 幅
フレーム印刷できる行数	4 行以内	3 行以内	2 行以内	1 行

縦書きのラベルを作る

フリーラベルの入力中、または入力後の確認画面（22 ページの手順 **1** の画面）表示中に［縦書印刷］を押すだけで、簡単に縦書きのラベルを印刷することができます。また、縦書きと横書きのラベルを一度に印刷することもできます。

縦書印刷　資料ファイル

縦横同時印刷　資料ファイル｜資料ファイル

縦書き（1 枚目）、横書き（2 枚目）がセットで印刷されます。

- フリーラベル以外では、［縦書印刷］や［機能］［縦書印刷（縦横同時印刷）］は無効となります。フリーラベル以外で縦書きのラベルを作成するときは、書式設定画面（37 ページ）で「縦書き」を設定してください。

1 **文字を入力します。**

2 **［縦書印刷］を押します。**
縦書きと横書きのラベルを一度に印刷するときは、［機能］を押し、指を離してから［縦書印刷（縦横同時印刷）］を押します。

重要　印刷するときは、24 ページの注意事項をご覧ください。

3 **数字キー（または［＜］［＞］）を押して印刷枚数を設定し、［∨］を押します。**
1 ～ 100 枚まで設定できます。

4 **［＜］［＞］を押してカットモードを設定し、［実行］を押します。**
印刷が開始されます。

- カットモードについて（25 ページ）

■「平成 25 年 12 月」、「'13 年 12 月」などのラベルの作り方

［印刷例］　平成25年12月

- 「25」や「'13」などは、記号一覧（75 ページ）の記号を使用すると、上の例のようなラベルを作ることができます。記号の入力方法については、55 ページをご覧ください。

作成したデータを登録する・呼び出す

作成したデータをメモリーに記憶させておくことができます。記憶させることを**登録**といいます。
登録しておけば、いつでも呼び出して印刷したり、また内容を修正して違うデータを作ることができます。

データを登録する

データに名前を付けて登録します。
データは 10 件まで登録できます。

文字の入力が完了すると右の画面が表示されます。

印刷　登録　終了

1 **〈〉を押して登録を選び、実行を押します。**

Rかな登録名?

2 **登録名を入力し、実行を押します。**

登録名は 7 文字まで入力できます。

- 登録名はデータを呼び出すときに使います。

3 **∧∨を押して登録する場所を選びます。**

- まだデータが登録されていない場所は、「未登録」と表示されます。

どこへ登録?
1 未登録

4 **実行を押します。**

- 「よろしいですか？」と表示されます。

5 **実行を押します。**

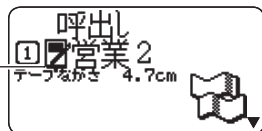
「登録完了」と表示され、最初の画面に戻ります。

ラベル作成編　作成したデータを登録する・呼び出す

登録したデータを呼び出す

登録したデータは、作成方法画面（21 ページの **1** の画面）から呼び出します。

1 **[∧][∨][<][>]を押して「登録データ」を選び、[実行]を押します。**

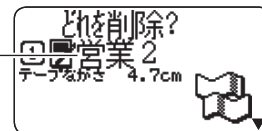
2 **[<][>]を押して 呼出し を選び、[実行]を押します。**

3 **[∧][∨]を押して呼び出したいデータの登録名を探し、[実行]を押します。**

データが呼び出されます。
必要に応じて、修正・印刷してください。

登録したデータを削除する

登録したデータは、作成方法画面（21 ページの **1** の画面）から削除することができます。

1 **[∧][∨][<][>]を押して「登録データ」を選び、[実行]を押します。**

2 **[<][>]を押して 削除 を選び、[実行]を押します。**

3 **[∧][∨]を押して削除したいデータの登録名を探し、[実行]を押します。**

「よろしいですか？」と表示されます。

4 **[実行]を押します。**

- 手順 **1** の画面が表示されます。
- データ削除の操作をやめるときは[取消し]を押します。

入力・編集編

文字の入力や編集についての基本的な説明をします。また、文字修飾の指定についても説明しています。

カーソルのはたらきと動かし方

画面上で点滅している＿を**カーソル**といいます。
カーソルとは、文字を入れる位置を示した目印のことです。

文字キーを押すと、カーソルの位置に文字が入ります。

Rかな 0/10もじ タイトル → [Aち] → Rかな 0/10もじ タイトル あ

[<]	左にカーソルが移動する	[^]	上にカーソルが移動する
[>]	右にカーソルが移動する	[v]	下にカーソルが移動する
[機能]を押し、指を離してから[< 行頭]を押す	行の先頭にカーソルが移動する	[機能]を押し、指を離してから[> 行末]を押す	行の最後にカーソルが移動する
[機能]を押し、指を離してから[^]を押す	文の先頭にカーソルが移動する※	[機能]を押し、指を離してから[v]を押す	文の最後にカーソルが移動する※

※フリーラベルでのみ有効です。

スクロールとは
画面にかくれている文字を見るためには、[<][>]を押して、かくれている部分にカーソルを動かします。これを**スクロール**といいます。
（[<][>]を押した方向に文字がないときは、カーソルは動きません。）

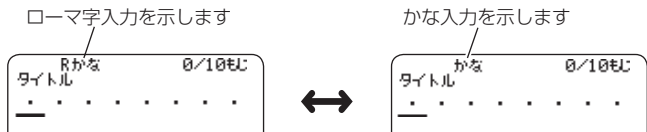
ローマ字入力？それともかな入力？

キーを押して文字を画面に表示させることを、**入力**といいます。
文字を入力する方法には、ローマ字入力とかな入力があります。

- **ローマ字入力とは…**
  アルファベットを使ったローマ字よみでひらがななどを入力する方法です。
- **かな入力とは…**
  直接ひらがななどを入力する方法です。

購入後はじめて使うときや、メモリーの初期化をした後では、ローマ字入力の状態になっています。

ローマ字入力とかな入力を切り換える

[機能]を押し、指を離してから[あア](ローマ字/かな)を押す

- 「ab」「AB」が画面左上に表示されているときは、まず[あア](ローマ字/かな)を押して、「R かな」または「かな」を表示させます。

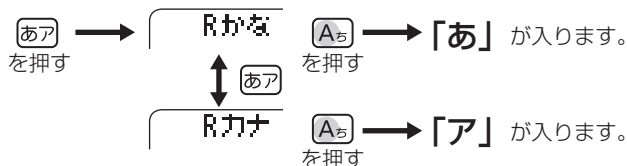
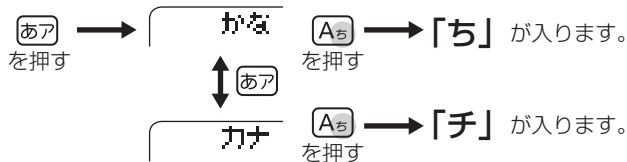
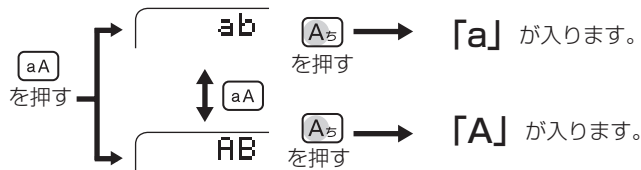
「設定」で切り換えるには

1. [機能]を押し、指を離してから[8ゆ](設定)を押します。
2. [∧][∨]を押して「入力設定」を選び、[実行]を押します。
3. [∧][∨][<][>]を押して「かな」または「ローマ字」を選び、[実行]を押します。

入力する文字の切り替え方法

文字キーは、1 つで数種類の文字が入力できるようになっています。[あア]や[aA]を押して、ひらがな・カタカナ・アルファベット・記号が入力できるように、切り換えます。
ここでは[Aち]を例にとって、説明します。

ひらがな・カタカナの入力

■ローマ字入力の場合

■かな入力の場合

アルファベット（大文字・小文字）の入力

ひらがな・カタカナの入力

ここではローマ字入力で説明します。

ひらがなの入力

［例］　さくら

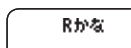
1 **[あア]を何回か押して、画面左上に「R かな」を表示させます。**

- かな入力のときは、「かな」を表示させます。（49 ページ）

Rかな

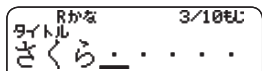
2 **[Sと][Aち][Kの][Uな][Rす][Aち]と押します。**

- かな入力のときは、[Xさ][Hく][Oら]と押します。

Rかな　0/10もじ
タイトル
さくら・・・・・

ひらがなを入力している最中は、
■ が文字に重なっています

3 **[無変換]または[実行]を押します。**

「さくら」が確定します。

- 「無変換」とは、漢字に変換しないでひらがなのまま確定するという意味です。

カタカナの入力

［例］　サクラ

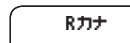
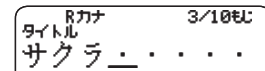
1 **[あア]を何回か押して、画面左上に「Rカナ」を表示させます。**

- かな入力のときは、「カナ」を表示させます。（49 ページ）

Rカナ

2 **[Sと][Aち][Kの][Uな][Rす][Aち]と押します。**

- かな入力のときは、[Xさ][Hく][Oら]と押します。

Rカナ　3/10もじ
タイトル
サクラ・・・・・

カタカナを入力すると、そのまま確定されます。

ひらがなで文字を入力して、カタカナに変換する（カタカナ変換）

例　サクラ

① **ひらがなで「さくら」と入力します。**

② **さくらとなっているときに、[機能]を押し、指を離してから[無変換]（カタカナ変換）を押します。**

さくらが「サクラ」に確定されます。

いろいろな文字の入力方法

	例	ローマ字入力	かな入力
促音	いった	[Iに][Tか][Tか][Aち]	[Eい][シフト][Zっ][Qた] *
拗音	きょう	[Kの][Yん][Oら][Uな]	[Gき][シフト][9ょ][4う] *
濁音	ぼく	[Bこ][Oら][Kの][Uな]	[ーほ][@゛][Hく]
半濁音	ぱぱ	[Pせ][Aち][Pせ][Aち]	[Fは][[゜][Fは][[゜]
句点	。	[.る。]	[シフト][.る。]
読点	、	[,ね、]	[シフト][,ね、]
長音	ー	[¥ー]	[¥ー]
中点	・	[シフト][/め・]	[シフト][/め・]
を		[Wて][Oら]	[シフト][0を]
ん		[Nみ][Nみ]	[Yん]
ヴ		「R カナ」表示のときに[Vひ][Uな]	「カナ」表示のときに[4う][@゛]
ヵ		[Xさ][Kの][Aち]または[Kの][シフト][Aち]	[シフト][Tか]
ヶ		[Xさ][Kの][Eい]または[Kの][シフト][Eい]	[シフト][:け]
空　白		[空白]	[空白]

＊[シフト]を押し、指を離してから文字キーを押すと小文字（促音・拗音）になりますが、「っゃゅょぁぃぅ」など促音・拗音にすることができる文字に限ります。

・ローマ字よみの詳細については、「ローマ字入力一覧」（74 ページ）をご覧ください。
・,（カンマ）.（ピリオド）の入力方法については、54 ページをご覧ください。
・「空白」は、半角で入力することはできません。

漢字の入力

漢字を入力するには、まずその漢字の「よみ」をひらがなで入力します（例：「花」→「はな」）。
ひらがなから漢字に変えることを**変換**といいます。使いたい漢字が表示されたら、[実行]を押して、他の文字に変わらないように**確定**します。

ひらがなから漢字に変換する方法は、次のとおりです。
- **文章を入力してから変換する**
- **同音異義語を変換する**（例：公園、後援など）
- **漢字 1 文字分ずつ変換する**（当て字や難しい固有名詞などの変換）

文章を入力してから変換する

文章を入力してから、まとめて漢字に変換します。
まとめて変換できる文字数は、32 文字までです。

[例]　今日行きます

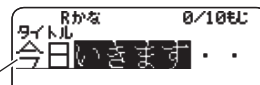
1 **「きょういきます」をひらがなで入力します。**

2 **[変換]を押します。**

「きょういき」と「ます」という 2 つの言葉と認識されたため、「境域」と変換されます。

「境域」に下線が付いています

3 **[＜]を 2 回押します。**
「きょういき」を「きょう」という言葉に区切るためです。

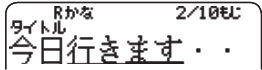
「今日」に変換されます

4 **［実行］を押します。**
「今日」が確定されます。
「いき」と「ます」という 2 つの言葉が残ったと認識されたため、「いき」が「意気」に変換されます。

5 **［>］を 2 回押します。**
「いき·ます」を「いきます」という言葉にするためです。

Rかな　2/10もじ
タイトル
今日意気ます・・

6 **［変換］を何回か押して、「行きます」にします。**

［変換］を押すたびに、「いきます」に当てはまる言葉が次々と表示されます。

Rかな　2/10もじ
タイトル
今日行きます・・

7 **「行きます」が表示されたら、［実行］を押します。**
「行きます」が確定されます。

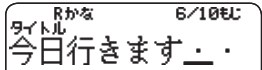
Rかな　6/10もじ
タイトル
今日行きます・・

カーソルと下線の違い

カーソルは、文字が入る位置を示した目印で、点滅して画面に表示されます。ひらがなを漢字に変えるときに付く下線は、「現在、変換することができる部分」を示した印です。

- 下線が付いているときに［取消し］を押すと、「よみ」の状態に戻ります。

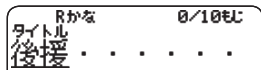
例　きょう　→［変換］→　今日　→［取消し］→　きょう

「よみ」を入れて［変換］を押しても目的の漢字に変換できないときは、単漢字変換を試してみましょう。
（53 ページ）

同音異義語を変換する

複数の漢字が当てはまる「よみ」（同音異義語）を変換する方法を説明します。

［例］　公園

1 **「こうえん」と入力し、［変換］を押します。**
「こうえん」に合った漢字の候補が表示されます。

Rかな　0/10もじ
タイトル
後援・・・・・・

2 **［変換］を何回か押して、「公園」にします。**
［変換］を押すたびに、「こうえん」に当てはまる言葉が次々と表示されます。

3 **「公園」になったら、［実行］を押します。**
「公園」が確定されます。

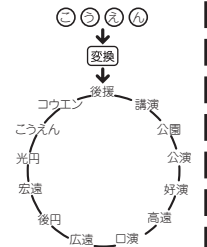
Rかな　2/10もじ
タイトル
公園・・・・・・

変換のルール

まず［変換］を押して、ひらがなを漢字に変換します。

↓

［変換］または［∨］を押すと、次の漢字が表示されます。

［機能］を押し、指を離してから［変換］（前候補）を押す、または［∧］を押すと、1 つ前の漢字が表示されます（前候補）。

漢字１文字ずつ変換する（単漢字変換）

当て字や難しい固有名詞などを変換するときは、１字ずつ目的の漢字に変換します。

［例］　敦廣（あつひろ）

1 **「あつひろ」をひらがなで入力します。**

Rかな　0/10もじ
タイトル
あつひろ

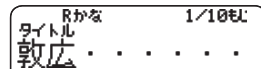
2 **変換 を何回か押します。**
何回押しても、「敦廣」に変換されません

3 **単漢字 を押します。**

- もう一度 単漢字 を押すと、「あ」に当てはまる漢字が表示されます。もう一度 単漢字 を押すと、「あつ」に当てはまる漢字が表示されます。

「あつ」に合った漢字がいくつか表示されます

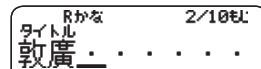
4 **∧ ∨ ＜ ＞ を押して、敦 にします。**

5 **実行 を押します。**
「敦」が確定されます。

「広」に下線が付きます

6 **変換 を何回か押して、「廣」にします。**

- 単漢字 を押して「廣」を探すこともできます。

7 **「廣」になっていることを確かめて、実行 を押します。**
「廣」が確定されます。

Rかな　2/10もじ
タイトル
敦廣

思いどおりの漢字に変換されないのはなぜ？
次のようなことが考えられます。
- 「週（しゅう）」を「しゆう」と入力している
- 「図（ず）」を「づ」と入力している
- 「通り（とおり）」を「とうり」と入力している
- 「社食（しゃしょく）」「道交法（どうこうほう）」など、略語の読みを入力している

次の文字の入力には、特に注意してください。
- 「ぁ」「ぃ」「ぅ」「ぇ」「ぉ」「ゃ」「ゅ」「ょ」の拗音
- 「っ」の促音
- 「ず」と「づ」
- 「じ」と「ぢ」
- 「お」と「う」

アルファベット・数字・記号・絵文字の入力

アルファベット、数字、記号、絵文字の入れ方を説明します。

アルファベットの入力

［例］　ＡＫＩ

1 **aAを何回か押して、画面の左上に「ａｂ」または「ＡＢ」を表示させます。**

ab：小文字を入力するとき
AB：大文字を入力するとき

AB

2 **AちKのIにと押します。**

アルファベットは、キーを押したと同時に、その文字に確定されます。

•カンマ（,）　ピリオド（.）を入力するには

画面の左上に「ＡＢ」または「ａｂ」と表示されているときに、次のキーを押します。

カンマ：,ね　　ピリオド：.る

•大文字と小文字が混ざった文章を簡単に入力するには

「ＡＢ」表示のとき‥‥シフトを押し、指を離してから文字キーを押すと、その文字だけ小文字になります。

例　TAKESHI's

「ａｂ」表示のとき‥‥シフトを押し、指を離してから文字キーを押すと、その文字だけ大文字になります。

例　English

数字の入力

［例］　１２３

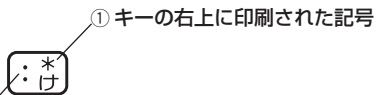
■かな入力のとき

1 **aAを押して、画面の左上に「ａｂ」または「ＡＢ」を表示させます。**

• ローマ字入力のときは、手順1の操作は不要です。

2 **1ぬ2ふ3あと押します。**

記号（キーに印刷されているもの）の入力

① キーの右上に印刷された記号

② キーの左に印刷された記号

■ローマ字入力の場合

① [：＊け]を押すと → 「：」が入ります。

② [シフト]を押し、指を離してから[：＊け]を押すと → 「＊」が入ります。

■かな入力の場合

① [aA] → AB または ab → [：＊け]を押すと → 「：」が入ります。

② [aA] → AB または ab → [シフト]を押し、指を離してから[：＊け]を押すと → 「＊」が入ります。

記号（その他の記号）の入力

など

記号は「記述・カッコ」「学術」「単位・略」「一般」「数字」「ギリシア・ロシア」「診療科目」の7つのグループに分かれています。75ページの記号一覧を見ながら、使いたい記号がどのグループに入っているのかを確かめてください。

[例] ☎ （グループ＝単位・略）

1 [機能]を押し、指を離してから[5 記号]を押します。

記号のグループ名

2 [∧][∨][＜][＞]を押して**単位・略**にし、[実行]を押します。

3 [∧][∨][＜][＞]を押して☎にし、[実行]を押します。

入力・編集編　アルファベット・数字・記号・絵文字の入力

絵文字の入力

内蔵の絵文字を使うことができます。絵文字は 21 のグループに分かれています。
76 ～ 77 ページの絵文字一覧を見ながら、使いたい絵文字がどのグループに入っているのかを確かめてください。
また、文字体の指定は無効です。

［例］ （グループ＝食べ物）

1 機能を押し、指を離してから 6（絵文字）を押します。

絵文字のグループ名

2 ∧∨＜＞を押して食べ物にし、実行を押します。

3 ∧∨＜＞を押して絵文字にし、実行を押します。

文字を修正・削除するときは

文字を間違えて入力したときの直し方と、入力してあるすべての文字を削除する方法を説明します。
フリーラベルでは、範囲を指定して削除することもできます。

文字を 1 文字ずつ消す

■カーソルの上の文字を消す

［例］「フファイル」の「フ」を消して、「ファイル」に直す

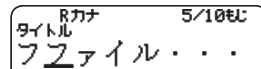
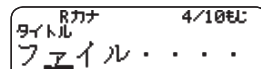
1 ＜＞を何回か押して、「フ」にカーソルを合わせます。

Rカナ 5/10もじ
タイトル
フファイル・・・

2 文字削除を押します。

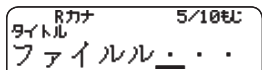
「ファイル」になります。

Rカナ 4/10もじ
タイトル
ファイル・・・・

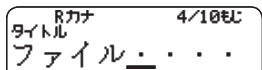
入力・編集編 文字を修正・削除するときは

■カーソルの前の文字を消す

［例］「ファイルル」の最後の「ル」を消して、「ファイル」に直す

1 **消したい文字の次の文字にカーソルを合わせます。**

Rカナ 5/10もじ
タイトル
ファイルル＿・・

2 **［後退］を押します。**

「ファイル」になります。

Rカナ 4/10もじ
タイトル
ファイル＿・・・

確定前に文字を消すには…
ふふぁいるなど、文字に が重なっているとき（確定前）に文字を消すときも、［文字削除］または［後退］を押して消します。
また、［取消し］を押すと、 が重なっている文字がすべて消えます。

確定➔51 ページ

すべての文字を消す（文削除）

入力中の項目の文章をすべて消します。

1 **［機能］を押し、指を離してから［文字削除］(文削除)を押します。**

「削除しますか？」と表示されます。

- 文削除をやめるときは、［取消し］を押します。
  フリーラベルでは「全文削除」と「部分削除」の選択画面が表示されますので、ここで「全文削除」を選んで［実行］を押します。

2 **［実行］を押します。**

- 画面にあった文字はすべて消えます

■範囲を決めて消す（フリーラベルのみ）

消したい部分の始めと終わりを指定して消す方法です。

［例］　「あおきおさむ」を「おさむ」にする

1 **［機能］を押し、指を離してから［文字削除］(文削除)を押します。**

2 **［＜］［＞］を押して部分削除を選び、［実行］を押します。**

操作をやめるときは［取消し］を押します。

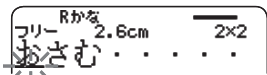
どこから?
あおきおさむ＿・

3 **［∧］［∨］［＜］［＞］を押して消したい部分の最初の文字にカーソルを合わせ、［実行］を押します。**

ここでは「あ」にカーソルを合わせます。

どこまで?
あおきおさむ・・

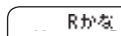
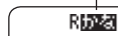
4 ⌃⌄＜＞を押して消したい部分の最後の文字を指定し、実行を押します。

ここではあおきにします。

間違った文字を直す

間違った文字を直す方法は、文字の入力方法が「挿入」状態になっているか、「上書き」状態になっているかで違ってきます。

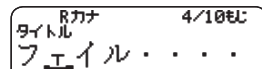
挿入：文字と文字の間に新しい文字を追加できます。
上書き：表示されている文字を新しい文字に入れ替えることができます。

■「上書き」にするとき

シフトを押し、指を離してからあアを押します。

もう一度シフトを押し、指を離してからあアを押すと、「挿入」状態に戻ります。

[例] 「フェイル」を「ファイル」に直す

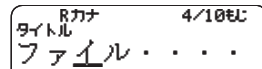
■間違った文字を消して正しい文字を入力する（「挿入」状態）

1 ＜＞を押して「ェ」にカーソルを合わせます。

Rカナ 4/10もじ
タイトル
フェイル・・・・

2 文字削除を押します。

「ェ」が削除され、「イ」が「ェ」の位置に移動します。

3 「ァ」を入力します。

- 「ァ」はシフトを押し、指を離してからAちを押して入力します。

「ァ」が「イ」の前に入力されます

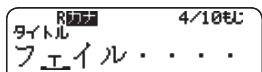
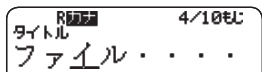
■間違った文字の上に正しい文字を入力する（「上書き」状態）

1 [＜][＞]を押して「ェ」にカーソルを合わせます。

```
R カナ 4/10もじ
タイトル
フェイル・・・・
```

2 「ァ」を入力します。

「ェ」が「ァ」になります

```
R カナ 4/10もじ
タイトル
ファイル・・・・
```

・直す文字数よりも入力する文字数が多いと、必要な文字まで新しい文字に入れ替わってしまいます。ご注意ください。

「設定」で切り換えるには

1 [機能]を押し、指を離してから[8 設定]を押します。

2 [∧][∨]を押して「入力設定」を選び、[実行]を押します。

3 [＜][＞]を押して「上書き」または「挿入」を選び、[実行]を押します。

確定前に文字を直したり追加するには…

ふぇいるなど、文字に　　　が重なっているとき（確定前）に文字を直したり追加するときも上と同じ操作で直します。

確定➜51 ページ

書体（フォント）を変える

入力済みの文字の形（書体）を、和文３書体・かな８書体・英数12 書体の中から選ぶことができます。
また、電源を入れたときの書体を決める設定方法についても説明します。

■和文書体

明朝体	角ゴシック体	丸ゴシック体
危険	危険	危険

■かな書体

明朝体	角ゴシック体	丸ゴシック体
あア	あア	あア
手書き	ボンジュール	メロディ
あア	あア	あア
パレット	プロデュース	
あア	あア	

■英数書体

明朝体	角ゴシック体	丸ゴシック体
A2	A2	A2
手書き	ボンジュール	メロディ
A2	A2	A2
パレット	プロデュース	ステンシル
A2	A2	A2
ポップ	ボールドスクリプト	ブラックレター
A2	A2	A2

• メモリーリセット後は、「和文フォント：明朝体」「かな・英数フォント：和文と同じ」に設定されています。

• かな書体は、次の文字が指定の対象になります。
  • アルファベット（A～Z　a～z）
  • 数字（１２３４５６７８９０）
  • ひらがな（あ～ん）
  • カタカナ（ア～ン、ヴ、ヵ、ヶ）
  • 記号の一部（、。，．？！長音ー～（ ）￥％スペース）
• 英数書体は、次の文字が指定の対象になります。
  • アルファベット（A～Z　a～z）
  • 数字（１２３４５６７８９０）
  • 記号の一部（，．？！ー～（　）￥％スペース）

かな・英数フォントの指定で、ステンシル／ポップ／ボールドスクリプト／ブラックレターを選んだ場合には、ひらがな、カタカナは和文フォントの指定と同じフォントになります。

入力済みの文字の書体を変える

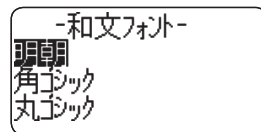
［例］ ヒーリングMUSIC集

（「ヒーリング」「集」を角ゴシック体に、「MUSIC」をボールドスクリプトにする）

1 文字を入力します。

2 フォント を押します。

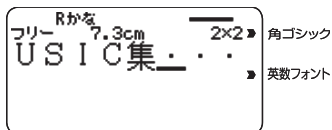
-和文フォント-
明朝
角ゴシック
丸ゴシック

3 ∧ ∨ を押して 角ゴシック を選び、 実行 を押します。

（和文書体の種類を選びます。）

-かな・英数フォント-
（和文と同じ）
あA 手書き
あA ボンジュール

4 ∧ ∨ を押して A ボールドスクリプト を選び、 実行 を押します。

（かな・英数書体の種類を選びます。）

設定後、文字入力の画面に戻ります。

電源を入れたときの書体を決める

1 **[機能]を押し、指を離してから[8 設定]を押します。**

2 **[∧][∨]を押して初期フォントにし、[実行]を押します。**

3 **[∧][∨]を押して和文フォントを選び、[実行]を押します。**

4 **[∧][∨]を押して英数フォントを選び、[実行]を押します。**

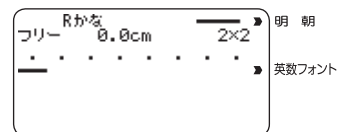
5 **[切]を押して一度電源を切り、再び[入]を押して電源を入れます。**

6 **文字入力の画面を表示させます。**

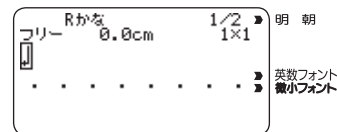
文字は指定したフォントで入力できます。

- 「登録データ」や「前回データ」を選択し呼び出したデータを使う場合は、現在の書体ではなくそのデータの作成時の書体が優先されます。

画面表示について

- 入力中の文字の書体を▶で示します。

- かな・英数フォントの指定で「和文と同じ」を選んだ場合には、▶は 1 つだけ点灯します。
- かな・英数フォントの指定で、「手書き／ボンジュール／メロディ／パレット／プロデュース」を選んだ場合には、▶は 3 つ点灯します（和文フォントとして指定した「明朝／角ゴシック／丸ゴシック」のうち 1 つと、「かなフォント」、「英数フォント」が点灯します）。
- かな・英数フォントの指定で、「ステンシル／ポップ／ボールドスクリプト／ブラックレター」を選んだ場合には、▶は 2 つ点灯します（和文フォントとして指定した「明朝／角ゴシック／丸ゴシック」のうち 1 つと、「英数フォント」が点灯します）。このとき、ひらがな、カタカナは和文フォントで指定したフォントになります。
- 英数書体は書体ごとに大きさ、バランスが設定されていますので、混在させるとバランスが不釣り合いになることがあります。

微小フォントについて

印刷するときは行数（入力した行数または選んだフォーマットの行数）とテープ幅によって微小フォントで印刷されます。このとき、画面右に「微小フォント」の▶が点灯します。

微小フォントには、次のような特徴があります。
- フォントの設定は無効です。（すべて同じフォントで印刷されます）
- 文字体または文字修飾を設定すると、きれいに印刷できないことがあります。
- 絵文字の場合は、きれいに印刷できないことがあります。

文字を目立たせる

文字を「太字」「白抜」「影付」「立体」にして目立たせることができます（文字体）。
・絵文字は、文字体の指定はできません。

標準
住所録

太字
住所録

白抜
住所録

影付
住所録

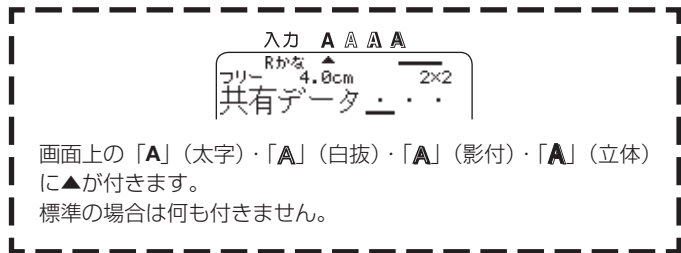
立体
住所録

1 **文字を入力します。**

2 **［機能］を押し、指を離してから［2 文字体］を押します。**

3 **［∧］［∨］［＜］［＞］を押して文字体の種類を選び、［実行］を押します。**

・A 標準を選ぶと、指定済みの文字体を通常の文字に戻すことができます。
・設定後、文字入力の画面に戻ります。

入力 A A A A
Rかな
フリー 4.0cm 2×2
共有データ・・・

画面上の「A」（太字）・「A」（白抜）・「A」（影付）・「A」（立体）に▲が付きます。
標準の場合は何も付きません。

文字に飾りをつける

文字に網を掛けることや、下線や枠を付けることができます。

網　掛	下　線	枠　付
修飾	修飾	修飾

1 文字を入力します。

2 機能を押し、指を離してから3（文字修飾）を押します。

3 ⌃⌄を押して文字修飾の種類を選びます。

- 用途別ラベルの文字修飾が指定できるフォーマットでは、「枠付」の「あり」「なし」を選ぶ画面が表示されます。「網掛」「下線」を選ぶことはできません。

4 ＜＞を押して手順３で選んだ文字修飾の「なし / あり」を選び、実行を押します。
・設定後、文字入力の画面に戻ります。

文字修飾を重ねることもできます

特売　網掛＋枠付　　特売　網掛＋下線

- ただし、文字の大きさによっては、文字や修飾が重なって印刷されることがあります。

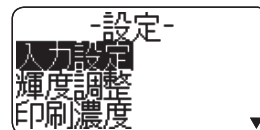
設定編

文字の入力方法や画面の明るさなど、本機を操作するための設定方法について説明します。

設定を変える

文字の入力方法や画面の明るさなどの設定を使いやすいように変更することができます。

設定できる項目

電源を入れて最初に機能を押し、指を離してから8（設定）を押すと、右の画面が表示されます。

⌃⌄で設定したい項目を選んで画面を切り替え、設定を変更します。

- 電源を入れた直後以外の画面では、一部の項目が画面に表示されないことがあります。

設定項目		内容	ページ
入力設定	挿入 / 上書き	文字の入力方法を決める	58
	ローマ字入力 / かな入力	日本語の入力方法を決める	49
輝度調整		画面の濃淡を調整する	64
印刷濃度		印刷の濃さを調整する	64
初期フォント		入力文字の最初の書体を決める	61
電池		アルカリ乾電池か充電式ニッケル水素電池（eneloop、充電式EVOLTA）のどちらを使うか決める	64
デモ印刷		ラベルの印刷例を印刷する	64

画面の明るさを変えたい

画面の表示が見えにくいときは、画面の明るさ（コントラスト）を調整することができます。

1 **[機能]を押し、指を離してから[設定 8 ゆ]を押します。**

2 **[∧][∨]を押して輝度調整を選び、[実行]を押します。**

3 **[＜][＞]を押して明るさを調整し、[実行]を押します。**

[＜]を押すごとに淡く、[＞]を押すごとに濃くなります。

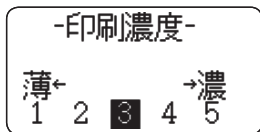
印刷の濃さを変えたい

印刷された文字が薄かったり、濃かったりしたときは、お好きな濃さに変えることができます。

1 **[機能]を押し、指を離してから[設定 8 ゆ]を押します。**

2 **[∧][∨]を押して印刷濃度を選び、[実行]を押します。**

3 **[＜][＞]を押して濃さを設定し、[実行]を押します。**

1にすると 1 番薄く印刷され、5にすると 1 番濃く印刷されます。

- 印刷の濃さの設定を変更しても、使用環境や使用状況が変わらない場合は、実際に印刷される濃度が変わらないことがあります。

電池の設定をする

アルカリ乾電池または充電式ニッケル水素電池（eneloop、充電式 EVOLTA）のどちらを使うかを設定します。
ご購入後はじめて使うときや、メモリーの初期化をした後は、アルカリ乾電池を使う設定になっています。

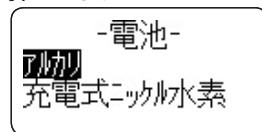
- ご使用になる電池に対して正しく設定されていないと、電池の消耗を知らせるメッセージが正しく表示されないことがあります。

1 **[機能]を押し、指を離してから[設定 8 ゆ]を押します。**

2 **[∧][∨]を押して電池を選び、[実行]を押します。**

-電池-
アルカリ
充電式ニッケル水素

3 **[∧][∨]を押して充電式ニッケル水素を選び、[実行]を押します。**

「アルカリ」を選んで[実行]を押すと、アルカリ乾電池を使う設定に戻ります。

サンプルデータを印刷する（デモ印刷）

内蔵のサンプルデータを印刷して、本機でどんなラベルが作れるかを見ることができます。

重要 デモ印刷をすると、前回作成したデータは消えてしまいます。大切なデータの場合には、登録してから印刷をしてください。（データの登録→ 46 ページ）

1 **テープカートリッジがセットされていることを確認します。**

- テープカートリッジについて→ 15 ページ

2 **電源が入っているときは(切)を押して電源を切ります。**

3 [入]を押して電源を入れます。

4 [機能]を押し、指を離してから[8 ゆ]（設定）を押します。

5 [∧][∨]を押して**デモ印刷**を選び、[実行]を押します。

6 [<][>]を押して**印刷**を選び、[実行]を押します。

重要 印刷するときは、24 ページの注意事項をご覧ください。

7 **「枚数　1 枚」「カットモード　通常」になっていることを確認します。**
- 印刷枚数やカットモードを変更することもできます。25 ページ「印刷とカットモード」をご覧ください。
- 特殊なテープで印刷するときは、テープカートリッジに合わせて、カットモードを変更してください。（25 ページ）

8 [実行]を押します。
- 印刷が始まります。
- セットしているテープカートリッジの幅によって、印刷される内容は異なります。

9 **印刷が終了したら[<][>]を押して終了を選び、[実行]を押します。**
「終了しますか？」と表示されます。

10 [実行]を押します。

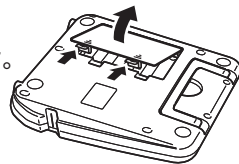
付　録

電源について

本機を使うときは、電源として指定の AC アダプターの他に、市販のアルカリ乾電池や充電式ニッケル水素電池（eneloop、または充電式 EVOLTA）を使うことができます。
- ご使用前に、「安全上のご注意」（1 ～ 5 ページ）を必ずご覧ください。

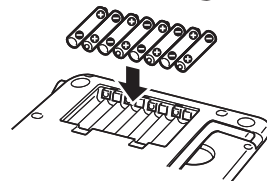
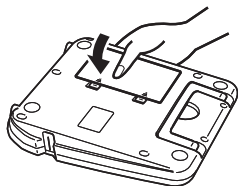
電池で使う

市販の単 3 形アルカリ乾電池、単 3 形充電式ニッケル水素電池（eneloop、または充電式 EVOLTA）を 8 本使用します。（必ず 8 本とも同じ種類の電池を使用してください。）

1 **本体裏側の電池カバーを取り外します。**
電池カバーに無理な力（逆に曲げるなど）を加えないでください。故障の原因となります。

2 **電池をセットします。**
⊕と⊖の向きに注意してセットしてください。

電源について 設定を変える

設定編

付録

3 電池カバーを取り付けます。

- 電池は、必ず 8 本とも新品の単 3 形アルカリ乾電池、または満充電にした単 3 形充電式ニッケル水素電池（eneloop、または充電式 EVOLTA）を使用してください。
  指定以外の電池を本機に使用したり、新しい電池と古い電池を混ぜて使用すると、電池の特性と本機の仕様の不一致により、所定の電池寿命を満たさなかったり、誤動作の原因となることがあります。
- 単 3 形充電式ニッケル水素電池（eneloop、または充電式 EVOLTA）を使用する場合は、電池の設定を「充電式ニッケル水素」にしてください（64 ページ）。
- 10℃未満の低温下で使用すると、電池の特性上、電池容量が低下するため、画面に「電池残り少」と表示されやすくなります。
  その場合は、本機を使用温度範囲（10℃～ 35℃）の環境に戻してからご使用ください。
- 電源が入っているときや、電源を切った後も表示が画面から完全に消えるまでは、AC アダプターや電池を取り外さないでください。一時的に保存された作成中の文章、本機に登録した文章、設定された内容が消去されてしまいます。
- 「電池をセットした状態」で、AC アダプターを抜き差しするときは、必ず、一度電源を切ってください。電源が入っているときに抜き差しをすると、電源が切れて作成中の文章が消去される場合があります。
- 本機に登録した重要なデータは、ノートなどに控えを取っておいてください。

電池寿命について

標準印刷条件で、18mm テープカートリッジ約 2 巻分の印刷ができます。

- 黒い部分の多い文字や画像を印刷した場合、低温下で使用した場合、電池をセットしたまま長期間保管した場合は、電池寿命は短くなります。
- 本機をご使用にならない場合も、2 年に 1 度は必ず電池を交換してください。
- 特に消耗した eneloop または充電式 EVOLTA を本機に入れたままにすると、eneloop または充電式 EVOLTA を劣化させる恐れがあるので、本機をご使用にならない場合はすぐに取り出してください。

お手入れの方法

プリンターヘッドやゴムローラーが汚れていると、ラベルをきれいに印刷できません。次の手順に従って、プリンターヘッドやゴムローラーを掃除してください。

綿棒できれいにする

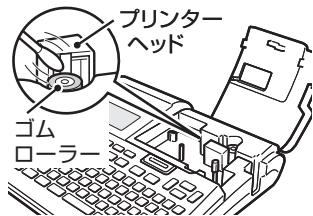
• プリンターヘッドやゴムローラーのお手入れは、綿棒などの柔らかいものをお使いください。また、綿棒は極細タイプをおすすめします。

1 **収納部オープンボタンを押して、テープカートリッジ収納部のカバーを開けます。**

• テープカートリッジが装着されているときは、テープカートリッジを取り出します。

• 印刷中や印刷直後は、プリンターヘッドが熱くなるため、十分に時間をおいてから、テープカートリッジを取り外してください。

2 **アルコールを浸した綿棒でプリンターヘッド、ゴムローラーの表面を拭きます。**

ローラーとヘッドが接触する部分を重点的に拭いてください。

• ゴムローラーは、[機能]を押し、指を離してから[0 を わ（テープ送り）]を押すと回転します。
• 市販のカセットテープレコーダー用のヘッドクリーニングキットもご使用になれます。

クリーニングテープを使う

別売のクリーニングテープ（XR-24CLE）を使うこともできます。

1 **収納部オープンボタンを押して、テープカートリッジ収納部のカバーを開けます。**

• 「綿棒できれいにする」の手順 1 の注意事項をお読みください。

2 **クリーニングテープを本機に装着します。**

3 **[入]を押して電源を入れます。**

4 **[機能]を押し、指を離してから[0 を わ（テープ送り）]を押して、1～2 回「テープ送り」をします。**

詳しくはクリーニングテープに付属の取扱説明書をご参照ください。

本体もお手入れしましょう

柔らかい布を水に浸してから固くしぼって、本体を拭いてください。

本体を傷付けるので、ベンジン、アルコールやシンナーなどの揮発性のものは使わないでください。

こんなときは（トラブルシューティング）

本機がうまく動かないときには、次の対処方法に従ってトラブルを解決してください。次の対処方法で解決できないトラブルは、「メモリーの初期化」（13 ページ）をしてください（メモリーの初期化をすると本機に記憶したデータが消去されます。必要なデータはノートなどに控えを取ってください）。それでも解決できない場合は、故障している可能性もありますので、お買い上げ店、最寄りの本機取扱店、もしくは「修理に関するお問い合わせ窓口」にご相談ください。

症状	考えられる原因	ご確認ください
●入を押しても何も表示されない	画面の明るさが適切でない	画面の明るさの設定を調整してください。（64 ページ）
	AC アダプターがきちんと接続されていない	AC アダプターを正しく接続してください。（12 ページ）
	電池が消耗している、または指定以外の電池を使用している 指定以外の AC アダプターを使用している	付属の AC アダプターをご使用になるか、新しい電池（別売）と交換してください。 充電池を使用している場合は、充電してください。
	電池が正しくセットされていない	正しくセットし直してください。（65 ページ）
	プリンターヘッドが高温になっている	しばらく時間をおいてからお使いください。
●正しく終了するが何も印刷されない	「空白」だけが入力されている	印刷したい文章を入力してください。
●印刷が不鮮明になった ●印刷がきれいにできない ●印刷が薄い	プリンターヘッドやゴムローラーに、汚れ、ゴミ、異物が付着している	クリーニングをしてください。（67 ページ）
	インクリボンのたるみによるしわが発生した	インクリボンを巻き取り、テープカートリッジを正しくセットし直してください。（15 ページ）
	テープカートリッジが正しくセットされていない	正しくセットし直してください。
	電池が消耗している	付属の AC アダプターをご使用になるか、新しい電池（別売）と交換してください。 充電池を使用している場合は、充電してください。
	印刷濃度が適切でない	印刷濃度を調節してください。（64 ページ）
●印刷されない ●印刷中に電源が切れる	電池が消耗している、または、指定以外の AC アダプターや電池を使用している	付属の AC アダプターをご使用になるか、新しい電池（別売）と交換してください。 充電池を使用している場合は、充電してください。
	プリンターヘッドが高温になっている	しばらく時間をおいてからお使いください。
●文字が入力できない	機能 を押した状態になっている	取消し を押して、文字が入力できる画面にします。
●目的の漢字に正しく変換されない	正しい「読み」が入力されていない	正しい「読み」を入力してください。特に、拗音（「しょう」の「ょ」など）や促音（「がっき」の「っ」など）の入力には注意しましょう。
	入力できる文字の種類が自分の思っている種類と違っている	あア を押して変更してください。（49 ページ）

症状	考えられる原因	ご確認ください
● 印刷プレビュー などの機能キーを押しても画面が変わらない	ひらがなに■が重なっている 例 あか 漢字に下線がついている 例 赤	ひらがなや漢字は必ず確定してください。■が重なっていたり下線がついていたりすると（確定前）、他の機能が使えません。
● 印刷を押してもテープが出てこない	テープカートリッジ収納部のカバーがしっかりと閉まっていない	カバーをしっかり閉めてください。（9 ページ）
	テープが終了している	新しいテープカートリッジ（別売）に交換してください。（15 ページ）
	テープが詰まっている	テープカートリッジを取り出して、詰まったテープを指で引き出します。引き出したテープはハサミなどでカットしてください。そのあと、正しくセットし直します。（15 ページ） **重要** **印刷中に、次のようなことはしないでください。** **• テープ出口をふさぐ** **• 出てくるテープに触る** **• テープカートリッジ収納部のカバーを開ける** **• 電源を切る**
	電池が消耗している	付属の AC アダプターをご使用になるか、新しい電池（別売）と交換してください。 充電池を使用している場合は、充電してください。

症状	考えられる原因	ご確認ください
●インクリボンがテープといっしょにテープ出口から出てきた	インクリボンがたるんでいるままで、テープカートリッジをセットした	テープカートリッジを取り出します。インクリボンが切れていないことを確かめてから、テープを巻き取ってください。そのあと正しくセットし直してください。（15 ページ） **重要** **• テープカートリッジをセットするときは、必ずインクリボンのたるみを取ってください。** **• インクリボンが切れているときは、新しいテープカートリッジ（別売）に交換してください。**
●テープが切れない	テープカッターが摩耗している	「修理に関するお問い合わせ窓口」に連絡して交換してください。 （95 ページ）
	テープ出口にテープが詰まっている	電源を切って、テープカートリッジを取り出し、詰まったラベルを取り除いてください。
	書式の余白が、「送り無」に設定されている	「余白小」、「余白中」または「余白大」に設定してください。（38 ページ）
	カットモードを「カットしない」に設定している	「カットしない」以外に設定してください。（25 ページ）
	ラベルの長さが短い （余白小で約 28mm 以下 余白中で約 35mm 以下 余白大で約 45mm 以下）	印刷終了後、ハサミなどでカットしてください。

症状	考えられる原因	ご確認ください
●ハーフカットができない	ハーフカッターが摩耗している	「修理に関するお問い合わせ窓口」に連絡して交換してください。(95 ページ)
	カットモードを「特殊テープ」「カットしない」に設定している	カットモードを「通常」または「切り離す」に設定してください。(25 ページ)
	マグネットテープを使用している	マグネットテープはハーフカットされません。印刷終了後、ハサミなどでカットしてください。 重要 マグネットテープ、反射テープ、アイロン布テープは、カットモードを「カットしない」にして印刷してください。また、自己粘着テープ、布転写テープ、インスタントレタリングテープは、「特殊テープ」にして印刷してください。(26 ページ)
	ラベルの長さが短い (余白小で約 28mm 以下 余白中で約 35mm 以下 余白大で約 45mm 以下)	印刷終了後、ハサミなどでカットしてください。
●ラベルが貼れない	裏紙をはがしていない	裏紙をはがしてから貼ってください。(23 ページ)
	貼る場所やものが適していない	表面がザラザラしているもの、水や油が付いているもの、汚れているものなどには貼れません。(23 ページ)

症状	考えられる原因	ご確認ください
●ラベルの余白が大きい	書式の余白が「余白大」「余白中」に設定されている	「余白小」または「送り無」に設定し直してください。(38ページ) (本機の構造上、印刷時にはラベルの先頭に必ず余白が入ります)

エラーメッセージ一覧

メッセージ	原因と対処	参照ページ
該当候補なし	・単漢字変換で候補の漢字がない場合 ➜ 取消し を押して違う読みを入力してください。	53
行数オーバー 印刷できません	・印刷できる行数を超えて印刷しようとした場合 ➜ 行数を減らすか、テープ幅を変えてください。	35、82
行数オーバー フレーム付きで印刷できません	・フレーム印刷できる行数を超えて印刷しようとした場合 ➜ 行数を減らすか、テープ幅を変えてください。	44
作成中の内容が失われますがよろしいですか？ 実行 / 取消し	・文章を消して操作を進める場合 ➜ 実行 を押してください。 ・文章を消したくない場合 ➜ 取消し を押してからその文章を登録してください。	46
指定したテープ長より長くなりますがよろしいですか？ 実行 / 取消し	・印刷する場合 ➜ 実行 を押してください。 ・印刷しない場合 ➜ 取消し を押し、「文字数を減らす」、「テープ長を指定し直す」、または書式内で「テープ長を 自動 にする」などの操作をしてください。	39
数字を入力してください	・ナンバリング印刷で、何も入力しないで印刷しようとした場合 ➜ 数字を入力してください	31
前回正しく終了されなかった可能性があります	・前回、電源が入っているときや「しばらくお待ちください」と表示されているときに、ACアダプターや電池を取り外すなどして正常に終了できなかった場合 ➜ 登録内容の一部が消去されています。何かキーを押すと、その部分が初期化されます。	12、65
テープエラー テープカートリッジが不適当です	・テープカートリッジ収納部のカバーがしっかりと閉まっていない場合 ➜ カバーをしっかりと閉めてください。 ・印刷または呼び出ししようとしているものに対して、テープカートリッジが不適当な場合 ➜ 電源を切って、テープカートリッジを交換してください。 ・電源が入っているときにテープカートリッジを交換した場合 ➜ 電源を切って、テープカートリッジを交換してください。	15、16
テープエラー テープカートリッジを装着してください	・テープカートリッジが装着されていない。または、装着方法が誤っている場合 ➜ テープカートリッジを正しく装着してください。	15
電池残り少 続行しますか？ 実行 / 取消し	・電池が消耗している場合 ➜ 新しい電池に交換してください、または付属の AC アダプターを使用してください。 充電池を使用している場合は、充電してください。 ・10℃未満の低温下で使用した場合 ➜ 使用温度範囲（10℃～35℃）でご使用ください。	65

メッセージ	原因と対処	参照ページ
電池残り少 交換してください	・電池が消耗している場合 ➜ 新しい電池に交換してください、または付属の AC アダプターを使用してください。 ・10℃未満の低温下で使用した場合 ➜ 使用温度範囲（10℃～ 35℃）でご使用ください。	65
登録データがありません	・登録されていない場所を呼び出しや削除しようとした場合 ➜ 別の登録データを選択してください。	47
長さオーバー 印刷できません	・印刷できるテープの長さを超えて印刷しようとした場合 ➜ テープの長さを短くする、または印刷枚数を減らしてください。	22、24、39
長さが短すぎてカットできませんがよろしいですか？ 実行 / 取消し	印刷時に先頭の不要部分のカットができない場合、または、1 枚ごとのカットができない場合 ・印刷する場合 ➜ 実行を押してください。 印刷が終わったら、ハサミなどで切ってください。 ・自動的にテープカットをしながら印刷をする場合 ➜ 余白を大きく（小➜中または中➜大）指定し直してください（カットモードを「特殊テープ」、余白を「大」に指定すると必ず前後の余白をそろえることができます）。	25、39

メッセージ	原因と対処	参照ページ
プリントエラー テープカートリッジを確認してください	・印刷中に、テープが詰まった場合 ➜ 電源を切ってテープカートリッジを取り出し、詰まったテープを取り除いてください。 ・オートテープカッターに異物がはさまった場合 ➜ 電源を切ってテープカートリッジを取り出し、オートテープカッターにはさまった異物を取り除いてください。	16
	・ゴムローラーに「ゴミ」や「テープの切れかす」などの異物が付着した場合 ➜ ゴムローラーに付着した異物を取り除き、ゴムローラーをクリーニングしてください。 ・テープカートリッジ収納部にあるセンサーに「テープの切れかす」などの異物が付着した場合 ➜ テープカートリッジ収納部から「テープの切れかす」などの異物を取り除いてください。	67
	・本機を直射日光などの強い光が当たる場所で使用し、本機内部にある光センサーが誤作動を起こした場合 ➜ 電源を切った後、強い光が当たらない場所でお使いください。	
	・マグネットテープを使用してカットモードを「通常」「切り離す」にした場合 ➜ カットモードを「カットしない」にして印刷してください。	25
	上記の対処をしても、メッセージが表示される場合は、お買い上げの販売店または「修理に関するお問い合わせ窓口」にお問い合わせください。	95

メッセージ	原因と対処	参照ページ
文字が入力されていません	• 文字を入れないで次の操作に進もうとした場合 ➜ 文字を入力してから次の操作をしてください。	21

ローマ字入力一覧

ローマ字入力するときの、綴り方の一覧表です。

行					
あ行	あ	い	う	え	お
	A	I	U	E	O
か行	か	き	く	け	こ
	KA	KI	KU	KE	KO
	CA		CU		CO
			QU		
が行	が	ぎ	ぐ	げ	ご
	GA	GI	GU	GE	GO
さ行	さ	し	す	せ	そ
	SA	SI	SU	SE	SO
		SHI			
ざ行	ざ	じ	ず	ぜ	ぞ
	ZA	ZI	ZU	ZE	ZO
		JI			
た行	た	ち	つ	て	と
	TA	TI	TU	TE	TO
		CHI	TSU		
だ行	だ	ぢ	づ	で	ど
	DA	DI	DU	DE	DO
な行	な	に	ぬ	ね	の
	NA	NI	NU	NE	NO
は行	は	ひ	ふ	へ	ほ
	HA	HI	HU	HE	HO
			FU		
ば行	ば	び	ぶ	べ	ぼ
	BA	BI	BU	BE	BO
ぱ行	ぱ	ぴ	ぷ	ぺ	ぽ
	PA	PI	PU	PE	PO
ま行	ま	み	む	め	も
	MA	MI	MU	ME	MO
や行	や		ゆ	いぇ	よ
	YA		YU	YE	YO

行					
ら行	ら	り	る	れ	ろ
	RA	RI	RU	RE	RO
	LA	LI	LU	LE	LO
わ行	わ	ゐ	う	ゑ	を
	WA	WI	WU	WE	WO
ん行	ん				
	NN、N ＋子音				
	MP ＋母音、MB ＋母音				

行					
きゃ行	きゃ	きぃ	きゅ	きぇ	きょ
	KYA	KYI	KYU	KYE	KYO
ぎゃ行	ぎゃ	ぎぃ	ぎゅ	ぎぇ	ぎょ
	GYA	GYI	GYU	GYE	GYO
くぁ行	くぁ	くぃ		くぇ	くぉ
	QA	QI		QE	QO
くゎ行	くゎ	くぃ	くぅ	くぇ	くぉ
	KWA	KWI	KWU	KWE	KWO
	QWA				
ぐゎ行	ぐゎ	ぐぃ	ぐぅ	ぐぇ	ぐぉ
	GWA	GWI	GWU	GWE	GWO
しゃ行	しゃ		しゅ	しぇ	しょ
	SYA		SYU	SYE	SYO
	SHA		SHU	SHE	SHO
じゃ行	じゃ	じぃ	じゅ	じぇ	じょ
	ZYA	ZYI	ZYU	ZYE	ZYO
	JA		JU	JE	JO
	JYA	JYI	JYU	JYE	JYO
ちゃ行	ちゃ	ちぃ	ちゅ	ちぇ	ちょ
	TYA	TYI	TYU	TYE	TYO
	CYA	CYI	CYU	CYE	CYO
	CHA		CHU	CHE	CHO
ぢゃ行	ぢゃ	ぢぃ	ぢゅ	ぢぇ	ぢょ
	DYA	DYI	DYU	DYE	DYO

行					
つぁ行	つぁ	つぃ		つぇ	つぉ
	TSA	TSI		TSE	TSO
てゃ行	てゃ	てぃ	てゅ	てぇ	てょ
	THA	THI	THU	THE	THO
でゃ行	でゃ	でぃ	でゅ	でぇ	でょ
	DHA	DHI	DHU	DHE	DHO
とぅ			とぅ		
			TWU		
どぅ			どぅ		
			DWU		
にゃ行	にゃ	にぃ	にゅ	にぇ	にょ
	NYA	NYI	NYU	NYE	NYO
ひゃ行	ひゃ	ひぃ	ひゅ	ひぇ	ひょ
	HYA	HYI	HYU	HYE	HYO
びゃ行	びゃ	びぃ	びゅ	びぇ	びょ
	BYA	BYI	BYU	BYE	BYO
ぴゃ行	ぴゃ	ぴぃ	ぴゅ	ぴぇ	ぴょ
	PYA	PYI	PYU	PYE	PYO

行					
ふぁ行	ふぁ	ふぃ		ふぇ	ふぉ
	FA	FI		FE	FO
ふゃ行	ふゃ	ふぃ	ふゅ	ふぇ	ふょ
	FYA	FYI	FYU	FYE	FYO
ぶゃ行	ぶゃ	ぶぃ	ぶゅ	ぶぇ	ぶょ
	VYA	VYI	VYU	VYE	VYO
みゃ行	みゃ	みぃ	みゅ	みぇ	みょ
	MYA	MYI	MYU	MYE	MYO
りゃ行	りゃ	りぃ	りゅ	りぇ	りょ
	RYA	RYI	RYU	RYE	RYO
	LYA	LYI	LYU	LYE	LYO
ぶぁ行	ぶぁ	ぶぃ	ぶ	ぶぇ	ぶぉ
ヴァ行	ヴァ	ヴィ	ヴ	ヴェ	ヴォ
	VA	VI	VU	VE	VO

・カタカナを入力する場合は、[あア] を何回か押して、画面左上に「Rカナ」表示させてから入力してください。

小文字（拗音・促音）

ぁ	ぃ	ぅ	ぇ	ぉ
XA	XI	XU	XE	XO
シフト +A	シフト +I	シフト +U	シフト +E	シフト +O
ゃ	ゅ	ょ	ゎ	
XYA	XYU	XYO	XWA	
Y シフト A	Y シフト U	Y シフト O	W シフト A	

っ	ヵ	ヶ
XTU、XTSU、LTU	XKA	XKE
T シフト U、TS シフト U	K シフト A	K シフト E

・N 以外の子音を 2 度入力しても「っ」や「ッ」になります。

記号・絵文字一覧

記　号

●記述・カッコ

、 。 ， ． ・ ： ； ？ ！ ゛ ゜ ´ ｀ ¨ ＾ ￣ ＿ ヽ ヾ ゝ
ゞ 〃 仝 々 〆 〇 ー ― ‐ ／ ＼ ～ ‖ ｜ … ‥ ‘ ’ “ ”
（ ） 〔 〕 ［ ］ ｛ ｝ 〈 〉 《 》 「 」 『 』 【 】 ゎ ゐ
ゑ ヮ ヰ ヱ

●学術

＋ － ± × ÷ ＝ ≠ ＜ ＞ ≦ ≧ ∞ ∴ ♂ ♀ ∠ ⊥ ⌒ ∂ ∇
≡ ≒ ≪ ≫ √ ∽ ∝ ∵ ∫ ∬ ∈ ∋ ⊆ ⊇ ⊂ ⊃ ∪ ∩ ∧ ∨
￢ ⇒ ⇔ ∀ ∃ ∓ ≃

●単位・略

° ′ ″ ℃ ￥ ＄ ¢ £ € ％ Å ‰ ｇ ㎡ ㎥ ℓ ㏋ ℧ ㎐ ㍉
㌢ ㍍ ㌔ ㌖ ㌘ ㌕ ㌧ 〒 〠 ☎ TEL FAX No. K.K. ㈱ ㈲ ㈹ (内) (直) ㈺
㈶ ㈵ ㈫ (千円) ㊟ (控) ㊞ ㊙ (検) (済) ㍾ ㍽ ㍼ ㍻ '00 '01 '02 '03 '04 '05
'06 '07 '08 '09 '10 '11 '12 '13 '14 '15 '16 '17 '18 '19 '20 '21 '22 '23 '24 '25
'26 '27 '28 '29

●一般

＃ ＆ ＊ ＠ § ※ 〓 ♯ ♭ ♪ † ‡ ¶ ◯ → ← ↑ ↓ ↘ ↖
↗ ↙ ⇨ ⇦ ⇧ ⇩ ⬄ ⇳ ☞ ☜ ☝ ☟ ☆ ★ ○ ● ◎ ◇ ◆ □
■ △ ▲ ▽ ▼ ♠ ♤ ♥ ♡ ♣ ♧ ♦ ♢

●数字

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳
Ⅰ Ⅱ Ⅲ Ⅳ Ⅴ Ⅵ Ⅶ Ⅷ Ⅸ Ⅹ ⅰ ⅱ ⅲ ⅳ ⅴ ⅵ ⅶ ⅷ ⅸ ⅹ
½ ¼ ¾

記　号

●数字

00 01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19
20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39
40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59
60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79
80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99

●ギリシア・ロシア

Α Β Γ Δ Ε Ζ Η Θ Ι Κ Λ Μ Ν Ξ Ο Π Ρ Σ Τ ϒ
Φ Χ Ψ Ω α β γ δ ε ζ η θ ι κ λ μ ν ξ ο π
ρ σ τ υ φ χ ψ ω А Б В Г Д Е Ё Ж З И Й К
Л М Н О П Р С Т У Ф Х Ц Ч Ш Щ Ъ Ы Ь Э Ю
Я а б в г д е ё ж з и й к л м н о п р с
т у ф х ц ч ш щ ъ ы ь э ю я

●診療科目

(内) (消) (循) (呼) (腎) (糖) (リ) (ア) (血) (神) (心) (感) (腫) (外) (胸) (乳) (甲) (小) (肛) (整)
(形) (脳) (産) (皮) (泌) (眼) (耳) (精) (性) (婦) (新) (気) (美) (歯) (老) (肝) (胆) (膝) (ス)

絵文字

●オフィス

●スケジュール

●天気

●注意

●案内

●店

絵文字

●食べ物

●暮らし

●乗り物

●季節

●ビデオ

絵文字

●オーディオ

●おもしろ

●趣味

●スポーツ

●人物

●生き物

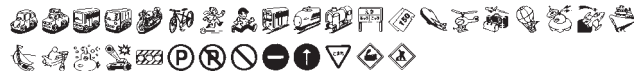
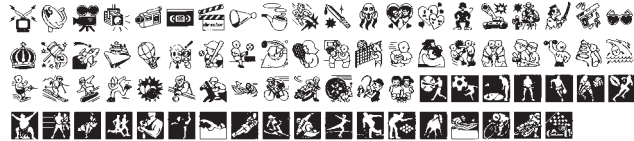
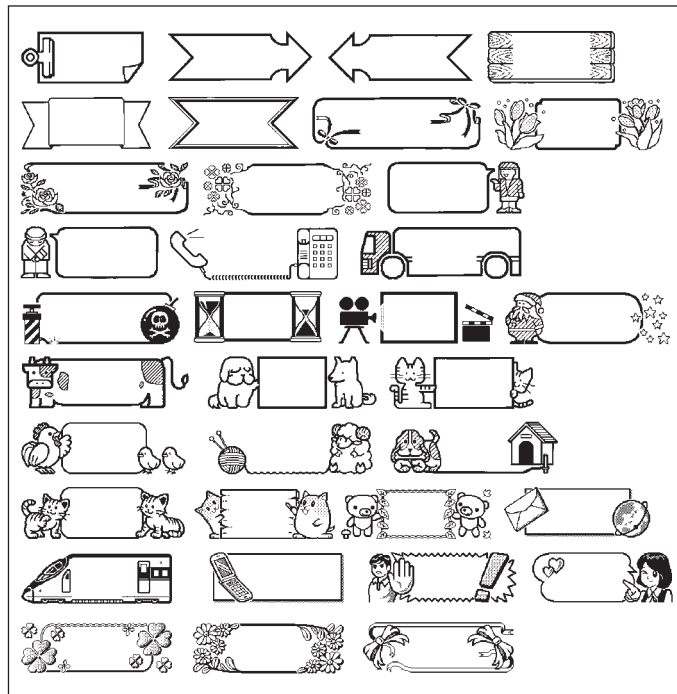
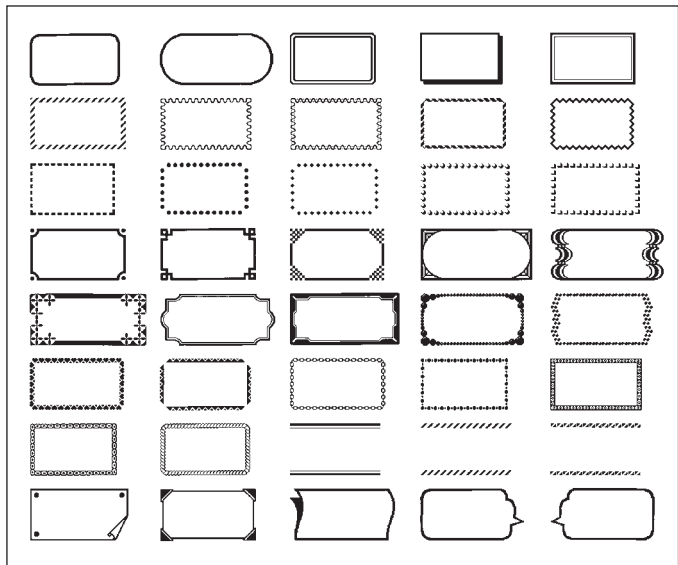
絵文字

●干支

●星座

●公共

●全部

「オフィス」から「公共」までの絵文字すべてが入ります。表示される順番は多少変わります。

フレーム一覧

用途別ラベルフォーマット一覧

お使いになるテープカートリッジの幅によって、フォーマットの表示が異なることがあります（入力項目が異なることはありません）。

用途	規格	方向	番号	フォーマット	入力項目	印刷可能テープ幅					
						24	18	12	9	6	3.5
名前（18種類）	一般（65㎜長）	横	大1		こうもく、なまえ	○	○	○	○	−	−
		横	大2		なまえ、こうもく						
		横	大3		なまえ、こうもく1～2						
	一般（45㎜長）	横	小1		こうもく、なまえ	○	○	○	○	−	−
		横	小2		なまえ、こうもく						
		横	小3		なまえ、こうもく1～2						
	子供（80㎜長）	横	大1		ねん・くみ、なまえ	○	○	○	○	−	−
		横	大2		ねん・くみ、なまえ						
		横	大3		がっこう、ねん・くみ、なまえ						
		横	大4		がっこう、ねん・くみ、なまえ						
	子供（50㎜長）	横	小1		ねん・くみ、なまえ	○	○	○	○	−	−
		横	小2		ねん・くみ、なまえ						
		横	小3		がっこう、ねん・くみ、なまえ						
		横	小4		がっこう、ねん・くみ、なまえ						

用途	規格	方向	番号	フォーマット	入力項目	印刷可能テープ幅					
						24	18	12	9	6	3.5
名前（18種類）	ふりがな付（80㎜長）	横	大1		ふりがな、なまえ	○	○	○	○	−	−
		横	大2		ねん・くみ、ふりがな、なまえ						
	ふりがな付（50㎜長）	横	小1		ふりがな、なまえ	○	○	○	○	−	−
		横	小2		ねん・くみ、ふりがな、なまえ						
ファイル（17種類）	ファイル背（180㎜長）	縦	大1		タイトル	○	○	○	○	−	−
		縦	大2		タイトル コメント						
		縦	大3		ぶんるい、タイトル、コメント1～3						
	ファイル背（140㎜長）	縦	小1		タイトル	○	○	○	○	−	−
		縦	小2		タイトル、コメント						
		縦	小3		ぶんるい、タイトル、コメント1～3						
	FD/MO（71㎜長）	横	1		タイトル	○	○	○	○	−	−
		横	2		タイトル、コメント						
		横	3		タイトル、コメント1～2						
	CD/DVD（114㎜長）	横	1		タイトル	○	○	○	○	−	−
		横	2		タイトル、コメント						
		横	3		タイトル、コメント1～2						
		横	4		タイトル1～3						
	CD/DVD背（114㎜長）	横	1		タイトル	−	−	−	−	○	○
		横	2		タイトル、コメント						
	備品管理（70㎜長）	横	1		こうもく1～3	○	○	○	○	−	−
		横	2		こうもく1～2						

用途	規格	方向	番号	フォーマット	入力項目	印刷可能テープ幅					
						24	18	12	9	6	3.5
送付（19種類）	封筒（210㎜長）	縦	大 1		なまえ						
		縦	大 2		じゅうしょ、なまえ	○	○	○	○	ー	ー
		縦	大 3		じゅうしょ、なまえ						
	封筒（140㎜長）	縦	小 1		なまえ						
		縦	小 2		じゅうしょ、なまえ	○	○	○	○	ー	ー
		縦	小 3		じゅうしょ、なまえ						
	はがき（90㎜長）	縦	1		なまえ						
		縦	2		じゅうしょ、なまえ	○	○	○	○	ー	ー
		縦	3		じゅうしょ1、じゅうしょ2、なまえ						
	差出人（65㎜長）	縦	大 1		じゅうしょ、なまえ	○	○	○	○	ー	ー
		縦	大 2		じゅうしょ1、じゅうしょ2、なまえ						
	差出人（45㎜長）	縦	小 1		じゅうしょ、なまえ	○	○	○	○	ー	ー
		縦	小 2		じゅうしょ1、じゅうしょ2、なまえ						
	のし紙（95㎜長）	縦	大 1		こうもく						
		縦	大 2		こうもく 1 ～ 2	○	○	○	○	ー	ー
		縦	大 3		こうもく 1 ～ 2						

用途	規格	方向	番号	フォーマット	入力項目	印刷可能テープ幅					
						24	18	12	9	6	3.5
送付（19種類）	のし紙（65㎜長）	縦	小 1		こうもく						
		縦	小 2		こうもく 1 ～ 2	○	○	○	○	ー	ー
		縦	小 3		こうもく 1 ～ 2						
ビデオ（17種類）	VHS（148㎜長）	縦	1		タイトル						
		縦	2		タイトル、コメント						
		縦	3		ぶんるい、タイトル、コメント 1 ～ 3	○	○	○	○	ー	ー
		縦	4		タイトル 1 ～ 3						
		縦	5		タイトル 1 ～ 3、タイトル 4 ～ 6						
	ミニ DV（65㎜長）	縦	1		タイトル						
		縦	2		タイトル、コメント	○	○	○	○	ー	ー
		縦	3		ぶんるい、タイトル、コメント 1 ～ 2						
		縦	4		タイトル 1 ～ 3						
	8 ミリ（94㎜長）	縦	1		タイトル						
		縦	2		タイトル、コメント	○	○	○	○	ー	ー
		縦	3		ぶんるい、タイトル、コメント 1 ～ 2						
		縦	4		タイトル 1 ～ 3						

用途	規格	方向	番号	フォーマット	入力項目	印刷可能テープ幅 24	18	12	9	6	3.5
ビデオ（17種類）	VHS-C（89㎜長）	縦	1		タイトル	○	○	○	○	—	—
		縦	2		タイトル コメント						
		縦	3		ぶんるい、タイトル、 コメント1～3						
		縦	4		タイトル1～3						
オーディオ（15種類）	MD（71㎜長）	横	1		タイトル	○	○	○	○	—	—
		横	2		タイトル、 コメント						
		横	3		タイトル、コメント 1～2						
		横	4		タイトル1～3						
	MD背（57㎜長）	横	1		タイトル	—	—	—	—	○	○
	カセット（99㎜長）	横	1		タイトル	○	○	○	○	—	—
		横	2		タイトル、 コメント						
		横	3		タイトル、 コメント1～2						
		横	4		タイトル1～3						
	CD/DVD（114㎜長）	横	1		タイトル	○	○	○	○	—	—
		横	2		タイトル、 コメント						
		横	3		タイトル、 コメント1～2						
		横	4		タイトル1～3						
	CD/DVD背（114㎜長）	横	1		タイトル	—	—	—	—	○	○
		横	2		タイトル、 コメント						

用途	規格	方向	番号	フォーマット	入力項目	印刷可能テープ幅 24	18	12	9	6	3.5
値札（10種類）	総額のみ（70㎜長）	横	大1		コメント、 ねだん	○	○	○	○	—	—
		横	大2		ひんもく、 ねだん						
		横	大3		ひんもく1～2、 ねだん						
	総額のみ（50㎜長）	横	小1		コメント、 ねだん	○	○	○	○	—	—
		横	小2		ひんもく、 ねだん						
		横	小3		ひんもく1～2、 ねだん						
	本体併記（70㎜長）	横	大1		ぜいこみ、 ほんたい	○	○	○	○	—	—
		横	大2		ひんもく、ぜいこみ、 ほんたい						
	本体併記（50㎜長）	横	小1		ぜいこみ、 ほんたい	○	○	○	○	—	—
		横	小2		ひんもく、ぜいこみ、 ほんたい						

ナンバリングフォーマット一覧

• 3.5mm 幅テープカートリッジはお使いになれません。

用途	規格	方向	番号	フォーマット	入力項目	印刷可能テープ幅 24	18	12	9	6	3.5
		横	1		ナンバー	○	○	○	○	○	–
		横	2		コメント、ナンバー						
		横	3		ナンバー、コメント						
		横	4		コメント1、ナンバー、コメント2						
		横	5		コメント、ナンバー						
		横	6		ナンバー、コメント						

テープ幅と行数・倍率一覧

印刷可能行数や最大 “縦” 倍率は、ご使用になるテープの幅やフォーマットによって異なります。

		3.5mm	6mm	9mm	12mm	18mm/24mm	取扱説明書参照ページ
最大印刷可能行数	標準フォント	—	1 行	1 行	2 行	3 行	35 ページ 43 ページ 61 ページ
	微小フォント	1 行	2 行	3 行	5 行	6 行	
最大 “縦” 倍率	標準フォント	—	1 倍	2 倍	3 倍	4 倍	42 ページ
複数行のときの縦倍率の合計	標準フォント	—	—	—	2 まで	3 まで	35 ページ 42 ページ 43 ページ 61 ページ
	微小フォント	—	2 まで	3 まで	5 まで	6 まで	

各機能における使用可能テープ幅一覧

	3.5mm	6mm	9mm	12mm	18mm	24mm
フリーラベル	○	○	○	○	○	○
フレーム	×	○	○	○	○	○
用途別ラベル※	○	○	○	○	○	○
ナンバリング印刷	×	○	○	○	○	○
デザインロゴ	×	×	×	○	○	○

※使用可能なテープ幅はフォーマットによって異なります。詳しくは、用途別ラベルフォーマット一覧（79 ページ）をご覧ください。

デザインロゴ一覧

分別（20 種類）		
番号	本体表示名	デザインイメージ
1	燃えるゴミ	燃えるゴミ
2	燃えないゴミ	燃えないゴミ
3	可燃物	可燃物
4	不燃物	不燃物
5	あき缶	あき缶
6	あきビン	あきビン
7	アルミ缶	アルミ缶
8	スチール缶	スチール缶
9	ペットボトル	ペットボトル
10	紙類	紙類
11	新聞・雑誌	新聞・雑誌
12	ダンボール	ダンボール
13	発泡スチロール	発泡スチロール
14	乾電池	乾電池
15	プラ製容器包装	プラ製容器包装
16	スプレー缶	スプレー缶
17	紙パック	紙パック
18	再生可	再生可
19	再生不可	再生不可
20	食品トレー	食品トレー

注意（21 種類）		
番号	本体表示名	デザインイメージ
1	立入禁止	立入禁止 DO NOT ENTER
2	火気厳禁	火気厳禁 FLAMMABLE
3	土足厳禁	土足厳禁 NO STREET SHOES
4	開放厳禁	開放厳禁 DO NOT LEAVE DOOR OPEN
5	禁煙	禁煙 NO SMOKING
6	飲食禁止	飲食禁止 NO EATING OR DRINKING
7	携帯使用禁止	携帯使用禁止 NO MOBILE PHONES
8	作業中	作業中 WORK IN PROGRESS
9	喫煙所	喫煙所 SMOKING AREA
10	安全第一	安全第一 SAFETY FIRST
11	危険	危険 DANGER
12	開閉注意	開閉注意 OPEN WITH CARE
13	故障	故障 OUT OF ORDER
14	撮影禁止	撮影禁止 NO PHOTOGRAPHY
15	使用禁止	使用禁止 DO NOT USE
16	修理中	修理中 UNDER REPAIR
17	高温注意	高温注意 DANGER HIGH TEMPERATURE
18	高電圧注意	高電圧注意 DANGER HIGH VOLTAGE
19	危険物注意	危険物注意 DANGEROUS MATERIAL
20	巻込まれ注意	巻込まれ注意 WATCH YOUR HANDS
21	はさまれ注意	はさまれ注意 WATCH YOUR HANDS

案内（11 種類）		
番号	本体表示名	デザインイメージ
1	会計	会計
2	相談窓口	相談窓口
3	整理券	整理券
4	ご意見箱	ご意見箱
5	ご自由にどうぞ	ご自由にどうぞ
6	不要レシート入れ	不要レシート入れ
7	係員呼び出し	係員呼び出し
8	品切れ中	品切れ中
9	喫煙席	喫煙席
10	禁煙席	禁煙席
11	お水はセルフサービス	お水はセルフサービス

標語（11 種類）		
番号	本体表示名	デザインイメージ
1	もう一度確認	もう一度確認
2	4S 運動実施中	4S運動実施中
3	5S 運動実施中	5S運動実施中
4	クリーンな職場	クリーンな職場
5	環境にやさしく	環境にやさしく
6	地球温暖化防止	地球温暖化防止

標語（11 種類）

番号	本体表示名	デザインイメージ
7	リサイクルの推進	Ⓡ リサイクルの推進
8	水資源を大切に	水資源を大切に
9	資源の節約	資源の節約
10	いつも安全運転	いつも安全運転
11	やめよう飲酒運転	やめよう飲酒運転

防犯（5 種類）

番号	本体表示名	デザインイメージ
1	セールスお断り	セールスお断り
2	チラシお断り	チラシお断り
3	防犯カメラ設置	防犯カメラ設置
4	ピッキング対策済	ピッキング対策済
5	猛犬注意	猛犬注意

生活（12 種類）

番号	本体表示名	デザインイメージ
1	手を洗おう！	手を洗おう!
2	歯を大切に	歯を大切に
3	かぜに注意	かぜに注意
4	水を大切に	水を大切に
5	整理整とんをしよう	整理整とんをしよう
6	物を大切に	物を大切に
7	こまめに消そう	こまめに消そう
8	決まりを守ろう	決まりを守ろう
9	最後までやりぬこう	最後までやりぬこう
10	あいさつをしよう	あいさつをしよう
11	体をきたえよう	体をきたえよう
12	健康に気をつけよう	健康に気をつけよう

収納（10 種類）

番号	本体表示名	デザインイメージ
1	春夏衣類	春夏衣類
2	秋冬衣類	秋冬衣類
3	シーツ・カバー	シーツ・カバー
4	タオル類	タオル類
5	ゲームソフト	ゲームソフト
6	おもちゃ	おもちゃ
7	パンプス	パンプス
8	サンダル	サンダル
9	フォーマル	フォーマル
10	スポーツシューズ	スポーツシューズ

書類（10 種類）

番号	本体表示名	デザインイメージ
1	説明書・保証書	説明書・保証書
2	重要書類	㊙ 重要書類
3	学校書類	学校書類
4	習い事・クラブ	習い事・クラブ
5	カタログ・クーポン	カタログ・クーポン
6	診察券・カード	診察券・カード
7	折曲厳禁	折曲厳禁
8	写真在中	写真 在中
9	AIR MAIL	AIR MAIL
10	取扱注意！	取扱注意!

内蔵漢字一覧

内蔵されている漢字の中には単漢字変換（53 ページ）を使わないと変換できないものもあります。

JIS 第 1 水準漢字一覧

あ

亜唖娃阿哀愛挨姶逢葵茜穐悪握渥旭葦芦鯵梓圧斡扱宛姐虻飴絢綾鮎或粟袷安庵按
暗案闇鞍杏

い

以伊位依偉囲夷委威尉惟意慰易椅為畏異移維緯胃萎衣謂違遺医井亥域育郁磯一壱
溢逸稲茨芋鰯允印咽員因姻引飲淫胤蔭院陰隠韻吋

う

右宇烏羽迂雨卯鵜窺丑碓臼渦嘘唄欝蔚鰻姥厩浦瓜閏噂云運雲

え

荏餌叡営嬰影映曳栄永泳洩瑛盈穎頴英衛詠鋭液疫益駅悦謁越閲榎厭円園堰奄宴延
怨掩援沿演炎焔煙燕猿縁艶苑薗遠鉛鴛塩

お

於汚甥凹央奥往応押旺横欧殴王翁襖鴬鴎黄岡沖荻億屋憶臆桶牡乙俺卸恩温穏音

か

下化仮何伽価佳加可嘉夏嫁家寡科暇果架歌河火珂禍禾稼箇花苛茄荷華菓蝦課嘩貨
迦過霞蚊俄峨我牙画臥芽蛾賀雅餓駕介会解回塊壊廻快怪悔恢懐戒拐改魁晦械海灰
界皆絵芥蟹開階貝凱劾外咳害崖慨概涯碍蓋街該鎧骸浬馨蛙垣柿蛎鈎劃嚇各廓拡攪
格核殻獲確穫覚角赫較郭閣隔革学岳楽額顎掛笠樫橿梶鰍潟割喝恰括活渇滑葛褐轄
且鰹叶椛樺鞄株兜竃蒲釜鎌噛鴨栢茅萱粥刈苅瓦乾侃冠寒刊勘勧巻喚堪姦完官寛干
幹患感慣憾換敢柑桓棺款歓汗漢澗潅環甘監看竿管簡緩缶翰肝艦莞観諌貫還鑑間閑
関陥韓館舘丸含岸巌玩癌眼岩翫贋雁頑顔願

き

企伎危喜器基奇嬉寄岐希幾忌揮机旗既期棋棄機帰毅気汽畿祈季稀紀徽規記貴起軌
輝飢騎鬼亀偽儀妓宜戯技擬欺犠疑祇義蟻誼議掬菊鞠吉吃喫桔橘詰砧杵黍却客脚虐
逆丘久仇休及吸宮弓急救朽求汲泣灸球究窮笈級糾給旧牛去居巨拒拠挙渠虚許距鋸
漁禦魚亨享京供侠僑兇競共凶協匡卿叫喬境峡強彊怯恐恭挟教橋況狂狭矯胸脅興蕎
郷鏡響饗驚仰凝尭暁業局曲極玉桐粁僅勤均巾錦斤欣欽琴禁禽筋緊芹菌衿襟謹近金
吟銀

く

九倶句区狗玖矩苦躯駆駈駒具愚虞喰空偶寓遇隅串櫛釧屑屈掘窟沓靴轡窪熊隈粂栗
繰桑鍬勲君薫訓群軍郡

け

卦袈祁係傾刑兄啓圭珪型契形径恵慶慧憩掲携敬景桂渓畦稽系経継繋罫茎荊蛍計詣
警軽頚鶏芸迎鯨劇戟撃激隙桁傑欠決潔穴結血訣月件倹倦健兼券剣喧圏堅嫌建憲懸
拳捲検権牽犬献研硯絹県肩見謙賢軒遣鍵険顕験鹸元原厳幻弦減源玄現絃舷言諺限

こ

乎個古呼固姑孤己庫弧戸故枯湖狐糊袴股胡菰虎誇跨鈷雇顧鼓五互伍午呉吾娯後御
悟梧檎瑚碁語誤護醐乞鯉交佼侯候倖光公功効勾厚口向后喉坑垢好孔孝宏工巧巷幸
広庚康弘恒慌抗拘控攻昂晃更杭校梗構江洪浩港溝甲皇硬稿糠紅紘絞綱耕考肯肱腔
膏航荒行衡講貢購郊酵鉱砿鋼閤降項香高鴻剛劫号合壕拷濠豪轟麹克刻告国穀酷鵠
黒獄漉腰甑忽惚骨狛込此頃今困坤墾婚恨懇昏昆根梱混痕紺艮魂

さ

些佐叉唆嵯左差査沙瑳砂詐鎖裟坐座挫債催再最哉塞妻宰彩才採栽歳済災采犀砕砦
祭斎細菜裁載際剤在材罪財冴坂阪堺榊肴咲崎埼碕鷺作削咋搾昨朔柵窄策索錯桜鮭
笹匙冊刷察拶撮擦札殺薩雑皐鯖捌錆鮫皿晒三傘参山惨撒散桟燦珊産算纂蚕讃賛酸
餐斬暫残

し

仕仔伺使刺司史嗣四士始姉姿子屍市師志思指支孜斯施旨枝止死氏獅祉私糸紙紫肢
脂至視詞詩試誌諮資賜雌飼歯事似侍児字寺慈持時次滋治爾璽痔磁示而耳自蒔辞汐
鹿式識鴫竺軸宍雫七叱執失嫉室悉湿漆疾質実蔀篠偲柴芝屡蕊縞舎写射捨赦斜煮社
紗者謝車遮蛇邪借勺尺杓灼爵酌釈錫若寂弱惹主取守手朱殊狩珠種腫趣酒首儒受呪
寿授樹綬需囚収周宗就州修愁拾洲秀秋終繍習臭舟蒐衆襲讐蹴輯週酋酬集醜什住充
十従戎柔汁渋獣縦重銃叔夙宿淑祝縮粛塾熟出術述俊峻春瞬竣舜駿准循旬楯殉淳準
潤盾純巡遵醇順処初所暑曙渚庶緒署書薯藷諸助叙女序徐恕鋤除傷償勝匠升召哨商
唱嘗奨妾娼宵将小少尚庄床廠彰承抄招掌捷昇昌昭晶松梢樟樵沼消渉湘焼焦照症省
硝礁祥称章笑粧紹肖菖蒋蕉衝裳訟証詔詳象賞醤鉦鍾鐘障鞘上丈丞乗冗剰城場壌嬢
常情擾条杖浄状畳穣蒸譲醸錠嘱埴飾拭植殖燭織職色触食蝕辱尻伸信侵唇娠寝審心
慎振新晋森榛浸深申疹真神秦紳臣芯薪親診身辛進針震人仁刃塵壬尋甚尽腎訊迅陣
靭

す
笥諏須酢図厨逗吹垂帥推水炊睡粋翠衰遂酔錐錘随瑞髄崇嵩数枢趨雛据杉椙菅頗雀裾澄摺寸

せ
世瀬畝是凄制勢姓征性成政整星晴棲栖正清牲生盛精聖声製西誠誓請逝醒青静斉税脆隻席惜戚斥昔析石積籍績脊責赤跡蹟碩切拙接摂折設窃節説雪絶舌蝉仙先千占宣専尖川戦扇撰栓栴泉浅洗染潜煎煽旋穿箭線繊羨腺舛船薦詮賎践選遷銭銑閃鮮前善漸然全禅繕膳糎

そ
噌塑岨措曾曽楚狙疏疎礎祖租粗素組蘇訴阻遡鼠僧創双叢倉喪壮奏爽宋層匝惣想捜掃挿掻操早曹巣槍槽漕燥争痩相窓糟総綜聡草荘葬蒼藻装走送遭鎗霜騒像増憎臓蔵贈造促側則即息捉束測足速俗属賊族続卒袖其揃存孫尊損村遜

た
他多太汰詑唾堕妥惰打柁舵楕陀駄騨体堆対耐岱帯待怠態戴替泰滞胎腿苔袋貸退逮隊黛鯛代台大第醍題鷹滝瀧卓啄宅托択拓沢濯琢託鐸濁諾茸凧蛸只叩但達辰奪脱巽竪辿棚谷狸鱈樽誰丹単嘆坦担探旦歎淡湛炭短端箪綻耽胆蛋誕鍛団壇弾断暖檀段男談

ち
値知地弛恥智池痴稚置致蜘遅馳築畜竹筑蓄逐秩窒茶嫡着中仲宙忠抽昼柱注虫衷註酎鋳駐樗瀦猪苧著貯丁兆凋喋寵帖帳庁弔張彫徴懲挑暢朝潮牒町眺聴脹腸蝶調諜超跳銚長頂鳥勅捗直朕沈珍賃鎮陳

つ
津墜椎槌追鎚痛通塚栂掴槻佃漬柘辻蔦綴鍔椿潰坪壷嬬紬爪吊釣鶴

て
亭低停偵剃貞呈堤定帝底庭廷弟悌抵挺提梯汀碇禎程締艇訂諦蹄逓邸鄭釘鼎泥摘擢敵滴的笛適鏑溺哲徹撤轍迭鉄典填天展店添纏甜貼転顛点伝殿澱田電

と
兎吐堵塗妬屠徒斗杜渡登菟賭途都鍍砥砺努度土奴怒倒党冬凍刀唐塔塘套宕島嶋悼投搭東桃梼棟盗淘湯涛灯燈当痘祷等答筒糖統到董蕩藤討謄豆踏逃透鐙陶頭騰闘働動同堂導憧撞洞瞳童胴萄道銅峠鴇匿得徳涜特督禿篤毒独読栃橡凸突椴届鳶苫寅酉瀞噸屯惇敦沌豚遁頓呑曇鈍

な
奈那内乍凪薙謎灘捺鍋楢馴縄畷南楠軟難汝

に
二尼弐迩匂賑肉虹廿日乳入如尿韮任妊忍認

ぬ
濡

ね
禰祢寧葱猫熱年念捻撚燃粘

の
乃廼之埜嚢悩濃納能脳膿農覗蚤

は
巴把播覇杷波派琶破婆罵芭馬俳廃拝排敗杯盃牌背肺輩配倍培媒梅楳煤狽買売賠陪這蝿秤矧萩伯剥博拍柏泊白箔粕舶薄迫曝漠爆縛莫駁麦函箱硲箸肇筈櫨幡肌畑畠八鉢溌発醗髪伐罰抜筏閥鳩噺塙蛤隼伴判半反叛帆搬斑板氾汎版犯班畔繁般藩販範釆煩頒飯挽晩番盤磐蕃蛮

ひ
匪卑否妃庇彼悲扉批披斐比泌疲皮碑秘緋罷肥被誹費避非飛樋簸備尾微枇毘琵眉美鼻柊稗匹疋髭彦膝菱肘弼必畢筆逼桧姫媛紐百謬俵彪標氷漂瓢票表評豹廟描病秒苗錨鋲蒜蛭鰭品彬斌浜瀕貧賓頻敏瓶

ふ
不付埠夫婦富冨布府怖扶敷斧普浮父符腐膚芙譜負賦赴阜附侮撫武舞葡蕪部封楓風葺蕗伏副復幅服福腹複覆淵弗払沸仏物鮒分吻噴墳憤扮焚奮粉糞紛雰文聞

へ
丙併兵塀幣平弊柄並蔽閉陛米頁僻壁癖碧別瞥蔑箆偏変片篇編辺返遍便勉娩弁鞭

ほ
保舗鋪圃捕歩甫補輔穂募墓慕戊暮母簿菩倣俸包呆報奉宝峰峯崩庖抱捧放方朋法泡烹砲縫胞芳萌蓬蜂褒訪豊邦鋒飽鳳鵬乏亡傍剖坊妨帽忘忙房暴望某棒冒紡肪膨謀貌貿鉾防吠頬北僕卜墨撲朴牧睦穆釦勃没殆堀幌奔本翻凡盆

ま
摩磨魔麻埋妹昧枚毎哩槙幕膜枕鮪柾鱒桝亦俣又抹末沫迄侭繭麿万慢満漫蔓

み
味未魅巳箕岬密蜜湊蓑稔脈妙粍民眠

む
務夢無牟矛霧鵡椋婿娘

め
冥名命明盟迷銘鳴姪牝滅免棉綿緬面麺

も
摸模茂妄孟毛猛盲網耗蒙儲木黙目杢勿餅尤戻籾貰問悶紋門匁

や
也冶夜爺耶野弥矢厄役約薬訳躍靖柳薮鑓

ゆ
愉愈油癒諭輸唯佑優勇友宥幽悠憂揖有柚湧涌猶猷由祐裕誘遊邑郵雄融夕

よ
予余与誉輿預傭幼妖容庸揚揺擁曜楊様洋溶熔用窯羊耀葉蓉要謡踊遥陽養慾抑欲沃
浴翌翼淀

ら
羅螺裸来莱頼雷洛絡落酪乱卵嵐欄濫藍蘭覧

り
利吏履李梨理璃痢裏裡里離陸律率立葎掠略劉流溜琉留硫粒隆竜龍侶慮旅虜了亮僚
両凌寮料梁涼猟療瞭稜糧良諒遼量陵領力緑倫厘林淋燐琳臨輪隣鱗麟

る
瑠塁涙累類

れ
令伶例冷励嶺怜玲礼苓鈴隷零霊麗齢暦歴列劣烈裂廉恋憐漣煉簾練聯蓮連錬

ろ
呂魯櫓炉賂路露労婁廊弄朗楼榔浪漏牢狼篭老聾蝋郎六麓禄肋録論

わ
倭和話歪賄脇惑枠鷲亙亘鰐詫藁蕨椀湾碗腕

JIS 第 2 水準漢字一覧

複数の読みがある漢字は、重複して掲載しています。

あ
亞侑傲價啖喘嗚嗟嘲圷址埃墟婀嫂寇廈彙匆悛憫扼晏晨晟晰曖曠椹殷沐洒浣淺游滌
澹炙烔炮焙煥爭當痣皓皹盪矜矮紮綺縣羹聚與莇葭蔬薊藜藹蘆蚫蜊蜚覿誂諄證豈贖
趾跌踪軋逅邂遽邊鑛阡隘霙霰靄鞋頷顯餡鐃鮑鮟鯵鰒鰊鴉鶩堯

い
佚勳嚴圦壹奧巖已帷廈廬弩彙岔慇愾愴憮戌戰摯曰桴棘櫟殷毬氣洟湮澳炒焉熨爲虉
疣疼痍礒齋稻絲綸縊聊苺藺蚓蜀蜴蝗螽訝詭誂諄諌諱鄙鈑鑄閾陋隕頤餔鰯鰛颱骭

う
侑吽呻唸嗚嘔嘯婉嫗悄憫罹搏撼暈栩棯鬱沽疇疼盂碨筌粳紆茴蕚藝蘊蛆蟒蠢袿裲謠
謳賣釉鑿闊闖靫頌頷飩饂饉鶯鶚鸞齲

え
寃噦圓婉嫣彗徊恵抉捐掏曰朶條榮槐泄衍涎渕湮烟焉狄穢筵箆篶縊繹翳腋莚蛯蜒蜴
裔豌鉞閻霙靨鰑鰓

お
侈俤倨傀傲儺凰厖吝嗚嘔嚴囮嗇夥奢奧奸嫗屏崗帶愼愕惶慄慳懊應懷扼拗拜拇掟撥
收斂晏朦朧枉檻櫻欒汪游澳熨獺甌疸瘧穽筬緘翛隋膃荘蜃蟒謚謳邱隕隴竟頌頤颪飫
餞驕鰛鴦鶯煕

か
仄佻會偕傀價冑凾刮剋卷厠呵咀咬喀嗅嚼囮壘夥奸姜媾孵學嵌嶽巖帷廈徊悍愕愾慳
懷罹掫揄搦攪撼攫數旱暈暉枷枳檜椌框桿楷楫楮槐槁樂檻櫂櫚沽浣涸滓溉煥煌燗燎
燿爨爬猾獪獺珈瑕甌疥疳疸痒瘍瘡癇盥眷瞰矍礙窩竈竄筐筧笴篝籠簪籃糜絣綸緘罐
羚羹翔翡翳胛膾膈舸艱艾茴菁葭蕚蒻薤虔蚋蠣蛞蜉蝸蝎蝣螂蟄蟇蠍蟷衙袙褶訛訝訶
諌諧諤谺豈貉贓踝踵辣邂邯釀鉗鉤鉋鎹閂闊靃鞋頷顆餉餡馘馥駱騙鬘鮠鰈梟鴉鶩鶻
鶚鸛鸛黴骭齟齧

き
來倨兢几剪卉听咎哄喀嗅嚴毀墟夾姜嬌屓屹峽嵜悸愾愧憬懃截拮拱挾揆暉杞杣枳柩
框梟檮棘槿檥檗蘗櫃欅毬麾氣淨滸烱炬狡狹瑕畸疆疵痍瘍瘧瘡癸皀矜礒秬竏筐筥紮
絆綺緤羇膠舅莢菫薑虻蛟蟯衾詭諱譃譏豈赳跪躬軋轢辟遽邱鋏鑽雉竟餃饉馗馭驕驥
髷魏鰭麒堯煕

く

來勳吼啖啾嘴囝國屎岫峅惧懺斟曖杞栩梳梔椚椈楔榑櫟湫澳燻癲皹眩瞑碎箝籤籤縊
茱萸蒟藏藥蚯蛄蛛踝踵鉤勒頸頽皺黎齲

け

儉刮劍劔勁卷呟嚴奎奸嶮巖彗惠慳憬抉拮楔檄檢櫸氣炯烟痙眩眷睨瞼礙禊穢筧箝縣
纐脛腱艱艾薊藝虔蛄蜆蜷螢螻蠍衒袿褻訝蹊釼鉗閨險竟頸顯驗鯢梟鴃鵙鷄齧

こ

亢傲兒凩凰剋吽吼咬哄哮哭囝國毀壺壼壽夾媚寇峽崗崑廣徨怙恆恍惶慷應懃戀戮拱
搆揑攪敲曠杞框梏棍椈楮槁毫汞沽洽洸涸淆渾滉滸漿濾炬煌狡狹猴珈珀琥琚瓠瘤皓
盒盡睾礫稟笏箍箏箏篁篝籠粳糀緻纐羹聲肛胛胱膠蒟薑薨蘚號蛄蛟蝠蝗蝙蟋蟀褌詁
誅譽谺蹊轉逅鉤錮鏝鐺鑛閘鞐餃鬨魍魎鯒鰊鸛

さ

倅凜剎哮喩嗟噪囁囀塹壯奐娑寞寥嵜崔彗彷徊徘徨悧慚憬懺搜晏柞椒棹楂榮榴樣櫻
殷麾沛洒浚渫淬滄澤炸熾爨狹猜猴瑣疆疝盒砌碎磋磔礙祿齋竄笊筅簀簪聰臍莢蔗薺
藹蛹蝎蠍觴讒賽蹉躁逍塹鑽鑿閂雜霰靫颯髏髑鰓鰆鶍鷀齊熙

し

乘侈侏俎偖兒厠呵呻咀咄咤啾嗟嗜嘴嘯嚼囁嗇址塒壽奢姜娑娜嫋宸實將屎岫峙嶌嶼
幟廂從忸恣悄悛愼憔戌掟揉搦攝摯攘收敍斟昵晨晰杼枳栞梔條棕椒棯楫楂樅榁橰櫚
鬱歿泗衍洵洒浚淨湮湫淬漿滲滌澁瀝瀟炙炒熾燼猩疊疵疽痣痺瘠皺盡眞睫睛祀祠齋
稠穰笏笙筍箏箏篩簪籔絲絨綽縒繩纈續羞翅翔聚聳聲肆脩臀臑舅舐舳芍茱茹莇莊菘
菁蒻蓴蔗蕁蘂蕭薔藉虱蛆蛛蜆蜀蜃蝨蟋蠡蟀蟯蠢裝褥襄褶襦觴訶詛詢誦誣諄謚證讓
贄贖趾蹂踵躄踪躾邇逡逍釀釋鉈鍼鍮鎭鐔鑄鑠閾陟靜頌韲餉饒驗驟髏髑鬚鮨鮹鰡鯱
鰓鰌鰆鰤鱶鴟鵲鶉鶸鶻麝齟槇

す

侑圖壽已彗悴拌捐掏擂數昴梳條橲毫漱瀦燧犂狡皺穗簀篶糘羞脛脩隋膵臑芻菫菘蘂
蝎螟裔辷迪醉銛閘隧鬚魎魑鮨鯣鱸鼈

せ

倅伜偖剎剪喘單塹悴截戰攝擅晟晰楔橇殲氈泄涎淺渫炙狹猩疝癬睛砌禪穽笘筌筅筬
筮箋籤籤緤聟聲臍菁薇藉薺蘚蚋蜻蜥蜩褻贅躄銛錢阡陋險靜餞髯鴿鶺齊

そ

仄俎倅伜卆雙咀噪囃壯嫂屹峙廂忖忽愴搆搜杣梳棕棗橇滄溉漱炒爭猜疽瘡盥竈笊笙
箒箏箏籔粽總續聳聰艘莊蔬薔藪藏蛆裝詛諷謗譏讒臟踪躁邨雜颯鰺齟

た

丼亢佇侘侑儺兌咤啖單喩嗜團垈垰壜娜婀嫋寶嶽帶帷幇彈怙悍憚憑截戰拿撻敲朶梳
棣椽槃樂橙毯洸潭澤澹瀑炬燵爛爲默獺玳瑶璧當疊疸痰癬盥眈瞞磔筍箍篁糜糯紲緞
繹羇隋荼蓼蕁薹袂襷詎譚譬貪赳躇躊迪逞鏨鐔頌頽颱駝駘騙驗體鬩魄鮹鮀齊堯

ち

佇佻偸冑嘲埃帙掉擲昵晁晝杼梃楮椹渫瀦狆瑣疇疊稠笞粽緻膣舳蛛蜩蟄蟲褶誅誂貂
趙躇躅躊邇鍮鎭鑄閻闖雉魑鰈

つ

亞傳儉兢几劍劔勁呟壺姜恆愼僡憑拿搗攬攫敍旁梃棍榴殲瀦琲盡絆續鑵翅苞蕾蘊虔
褄訃赳跌蹉躅躑䄷釼鋏鐔頌顆飄鶇

て

佚傳儡剎唸啼囀奐幀揑掟擲晟桿梏梃棣楷椽涕涅滌狄癲皓碾篆纏臀衒覿諂貂跌躑轉
迪逞酊鈿鐵體熙

と

丼俘偖偸吶咎咄咤嘲團壘壜嶌帷幀弩慟掏掉攝搗搏攬晨杼栩檮棘棹棠橙檢櫂檸濤滔
獨獰瑙當疼盪瞠礪齋稻籐縅緞縢纜髦肭臀與艫荼薹蚌蛉蝪蜻蜥蜚蟷襠訥訶誦讀貪躅
邨酘錮鍮鐺鑠陟鞆飩鸁髑鬨鰌鴟鶇鷄齊

な

儺雙哭啼喃嗟娜嬌愾慷慟懊拿抛擲棗泗泪洟涕濤瀾爲昞睥糯繩脩膾舐薺蛞蝓褻訛邊
邉鉈霖鯰靡

に

兒怱搦棣楡渾滲瀑燗皰眈睨膠茹荼蒻蜷貳贄邇遽霍饒驟鯡鰊鷄

ぬ

偸垈攘濘粳蓴鵺

ね

塒佞恪懃拗揑捩棯檸涅濘猜諄閨鯰

の

乘亢佚嚥宸幟敍曰烽熨瑙禮篦脩芒詛詈鑿頌堯熙

内藏漢字一覧

付録

は
僔凾刎辨匍匐卍咄喀喇囃夾婢孕寞峡嵌彈彙徘忖忸愧慙憚懀拝拌拂拮挾揆搏撥攀攘
旛枦柞椒槃檗蘗沛涀衍滔濱瀑焙爬獏玻珀琲瑪瓣疥癸盂瞞磔礬祓秣筐筥箒絆羞翅胚
脛腑艀苺范茉菠蕚萬蕁薑薔薇蜎蟇蟠袢襦詢譚貉貘賣跛跋邁鈑鉋鋏鍼雹霹颯餞驀驟
鬘魄魃鮑鯆鱧黴鼾遙

ひ
几剽曼單壜壺壽婢媚嬪將屁屓屏廂廣彌彎憑憫扁拂攣早晝暉枢檜檗蘗櫃檳洽洸滉濱
炯煥燧狒珀琲瓢疥痙痺痼皓皹眸睛矮砒磇祕齋稟禀糜罠羆翡脾臂苞薇蜚蟇襞襴譬鼻
跛跪轢迪鄙闊闢雹鞴鞸飄髀髭鬚鬢魃鮃鯡鰭鵯鶲靡黴齊熙

ふ
佛俘俯刎匐雙哺奎孵巫帙彿忿懷拂掉梟桴棼榑檄渕潭瘋祓祿笙箋箙篝篩總腑艀艘蚋
蜉蝠蝮衾袱褌訃誣諷趺蹂躅躙輻迪郛錮鞴馥鰒鰤鱝鳧鴟鶩麩

へ
辨屁屏扁捐朶璧瓣昞睥瞑砒篦聘臍舳蝙螟袂襞諂諛貶辟辯邊邉酩闢霹騙鮃鼈

ほ
仄佛僔匍匐庖吽听吼咆哮哺埃塹寶彪幇彗彷彿怱拇抛擅旁旛昴朦栫梵榜檬歿殲沐滸
炮烽焙默琺瑁甌甍疱痣皰眸硼祠穗箒絣罐耄肆膀臍舫芒苞茫菠萠蒡稜蚌蚫螢蟒裒謗
譽邊鉈鉋鞴頌馗魍鮑鯆鯔鶩

ま
俎卍卷曼圓團娑學寞將彪彎懣晟枉枡毬洵淆滿瑁當眞睫瞞瞼祀秣紆繚纏芻苺茉萬蝮
蟇襠詢諄賣邁鉞鏝雜饅驀髷鬘槙

み
實巫彌憫榁汞滿澪瀦猥獏癸瞠瞰砌磋礬禊毪罠聊肆茗蘼蚓蚯蛟螟躬迪醂阡隧霙馗鹹
鶚鵐鷦靡遙

む
尨巫撻曠槿眸窩笘筈筵縢聟莚蟲貉貪賽邨鈍鼯

め
惠暈瑙瑪眩瞑笹紆繚聘茗螟邂邏酩

も
傀剌址懣揉朦樅檬氈沐泄燼默疱齋糯耄脾舫艾芒萠銛靄髀魍駃鵙

や
已恪悴憔扼揶晏棠椰烙燎蘂繹腋萢葯藪蕷藥衙輻鑢頤鵺

ゆ
佻侑喩岬揄搖檮楡游疣禪綽臾舳茹萸蚰蝓蝣衍諛讓邁釉饒鼬

よ
豫兌夭佞孕憑拗搖攀樣涎燿瑤痒瘍縒與艾萬葯蕭蕷蛹衾裝詁誦謠譽讀酊酩醉鬩靨鴦
鸚遙熙

ら
來儡剌喇拉擂攬樂欒溂瀾烙爛爤癩磊禮籃纜蓙蕾欄辣邏酪駝駱騾鸞

り
凜吝寥崚廬悧恪慄罹戮榴櫚濾燎瘤稟禀蘂綸繚羚聊莉蓼稜藺蛉蜊裲詈躪輛醂鑢隴霖
驢魎鵜凛

る
壘泪瘤縷髏

れ
冽戀捩攣斂檸檬櫟澪瀝犂礪礫禮羚藜蛉蠣轢靂鰊鱧鴒黎

ろ
廬拉朧枦樓櫟櫚濾瑯碌祿籠縷臘臈艫蘆螂螻轆轤鑪陋隴勒驢髏鱸

わ
侘辨听呵夭彎悸拌猥猾獪獰瓣矮穢穰窩罠腋膀藝蟠豌鞋

仕様

形式　：KL-M7

入力

キー配列　：JIS 配列準拠
入力方法　：ローマ字入力、JIS かな入力
変換方式　：熟語変換・単漢字変換

辞書

内蔵辞書数：熟語変換　約 88,000 語
単漢字変換　約 13,000 語

文字種

5,640 文字

漢　字：4,166 文字
JIS 第 1 水準 ……………………… 2,965 文字
JIS 第 2 水準 ……………………… 1,201 文字
ひらがな：83 文字
カタカナ：86 文字
数　字：10 文字
アルファベット：52 文字
ギリシア文字：48 文字
ロシア文字：66 文字
記号：425 文字
絵文字：704 文字

表示

液晶表示　：128 × 64 ドット+シンボル（8 桁× 4 行）
入力部分　：8 桁× 1 行（フリーラベル以外での入力時）
8 桁× 3 行（フリーラベル入力時）
表示文字構成：16 × 16 ドット
8 × 16 ドット（メニュー・メッセージ専用）
8 × 8 ドット（メニュー・メッセージ専用）

印刷

印字密度　：200dpi
印刷方式　：熱転写方式
印字速度　：約 10mm/ 秒
印字幅　：約 12mm
a）2mm（テープ幅 3.5mm）
b）4mm（テープ幅 6mm）
c）7mm（テープ幅 9mm）
d）10mm（テープ幅 12mm）
e）12mm（テープ幅 18mm/24mm）

• 印字速度は印字環境、条件等により異なります。

文字構成　：ビットマップフォント
書　体　：和文書体
（明朝体※、角ゴシック体※、丸ゴシック体）
かな 8 書体
（明朝体※、角ゴシック体※、丸ゴシック体、手書き、ボンジュール、メロディ、パレット、プロデュース）
英数 12 書体
（明朝体※、角ゴシック体※、丸ゴシック体、手書き、ボンジュール、メロディ、パレット、プロデュース、ステンシル、ポップ、ボールドスクリプト、ブラックレター）

※この書体は、（財）日本規格協会と使用許諾契約を締結して使用しているものです。なお、フォントの一部には、弊社でデザインした外字を含みます。
フォントとして無断複製することは禁止されています。

平成明朝体 TMW8、平成角ゴシック体 TMW5

印刷方向　：横書き・縦書き・裏書き
印刷文字体：標準・太字・白抜・影付・立体
印字行数　：3.5mm 幅テープ使用時　1 行印刷可能
6mm 幅テープ使用時　1 ～ 2 行印刷可能
9mm 幅テープ使用時　1 ～ 3 行印刷可能
12mm 幅テープ使用時　1 ～ 5 行印刷可能
18mm/24mm 幅テープ使用時
1 ～ 6 行印刷可能

内部記憶

文字編集用の記憶　　　　：フォーマットごとに設定
（フリーラベルでは 127 文字）
文字登録用の記憶　　　　：各機能共通で 10 件
単漢字変換学習　　　　　：約 10 語

登録

文字編集用記憶エリア一括登録（上書き）

電源・その他

動作用電源：AC アダプター（AD-A12090L）
家庭用 100V 電源使用
単 3 形アルカリ乾電池（8 本・市販品）
単 3 形 eneloop（8 本・市販品）
単 3 形充電式 EVOLTA（8 本・市販品）
定格消費電流　：750mA（9W）
オートパワーオフ　：約 6 分
大きさ　：幅 202mm ×奥行 216mm ×高さ 64.5mm
（足含む）
質量　：約 750g（電池含まず）
使用温度　：10℃～ 35℃

別売品について

別売品のテープカートリッジについては、付属の「別売品カタログ」をご覧ください。また、別売品のテープカートリッジの最新情報やネームランド新製品情報については、以下の URL をご確認ください。
http://casio.jp/d-stationery/

● クリーニングテープ
XR-24CLE
長期間ご使用になると、プリンターヘッドにホコリがたまることがあります。クリーニングテープを使えば、そのホコリ等を取り除くことができ、きれいな文字を印刷できます。

● ネームランド用ハサミ
CU-10
9 ミリ幅～ 24 ミリ幅テープのカドを丸くしたり、カット部を波型に仕上げることができます。

- 品切れの際はご容赦ください。
- 別売品については一部予告なしに変更となる可能性があります。

索引